

# 県立病院の経営状況及び経営管理体制

## ■ 経営状況 ■

H25年度決算 【病院事業全体】

- 平成25年度の単年度損益は、6億81万円余りの赤字決算となりました。
- この結果、累積欠損金は平成25年度末時点で、121億5,049万円余りとなりました。
- 医業収益は、あき総合病院の診療体制の充実により増加した一方、幡多けんみん病院の患者数の減により対前年度比で減少し、また、医業費用は、あき総合病院の新病院整備に伴う移転費用などの臨時的経費が発生したことから、経常収支は2億8,967万円余り減少しました。
- 単年度損益は、前年度の旧芸陽病院の解体のような多額の除却費がなかったため2億6,064万円改善しています。

### 第4.5期改革プラン

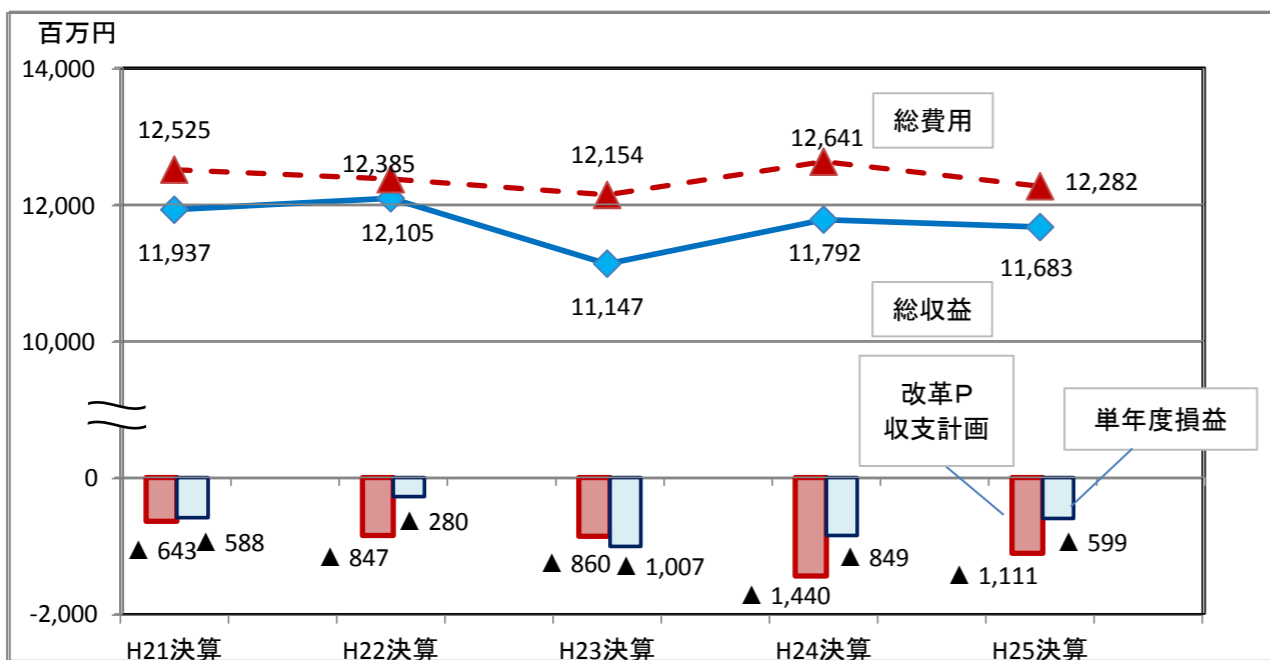
第4.5期改革プランで病床利用率などの数値目標を定め、目標達成に向けた取組を行いました。

	あき総合病院				幡多けんみん病院				
	計画	H25実績	計画比		計画	H25実績	計画比		
病床利用率	一般	78.8%	79.9%	+ 1.1%	○	80.0%	77.0%	▲ 3.0%	△
	精神	90.0%	87.9%	▲ 2.1%	△				
入院診療単価	一般	31,989円	36,135円	+ 4,146円	○	50,638円	51,175円	+ 537円	○
	精神	14,676円	14,608円	▲ 68円	△				
1日平均入院患者	一般	115.0人	117.2人	+ 2.2人	○	248.8人	240.6人	▲ 8.2人	△
	精神	81.0人	79.2人	▲ 1.8人	△				
外来診療単価	一般	7,618円	8,852円	+ 1,234円	○	12,364円	12,057円	▲ 307円	△
	精神	7,716円	7,609円	▲ 107円	△				
1日平均外来患者	一般	405.2人	414.9人	+ 9.7人	○	559.5人	543.3人	▲ 16.2人	△
	精神	66.9人	58.8人	▲ 8.1人	△				

### 病院事業決算の推移

【2病院 合計】 (単位: 百万円)

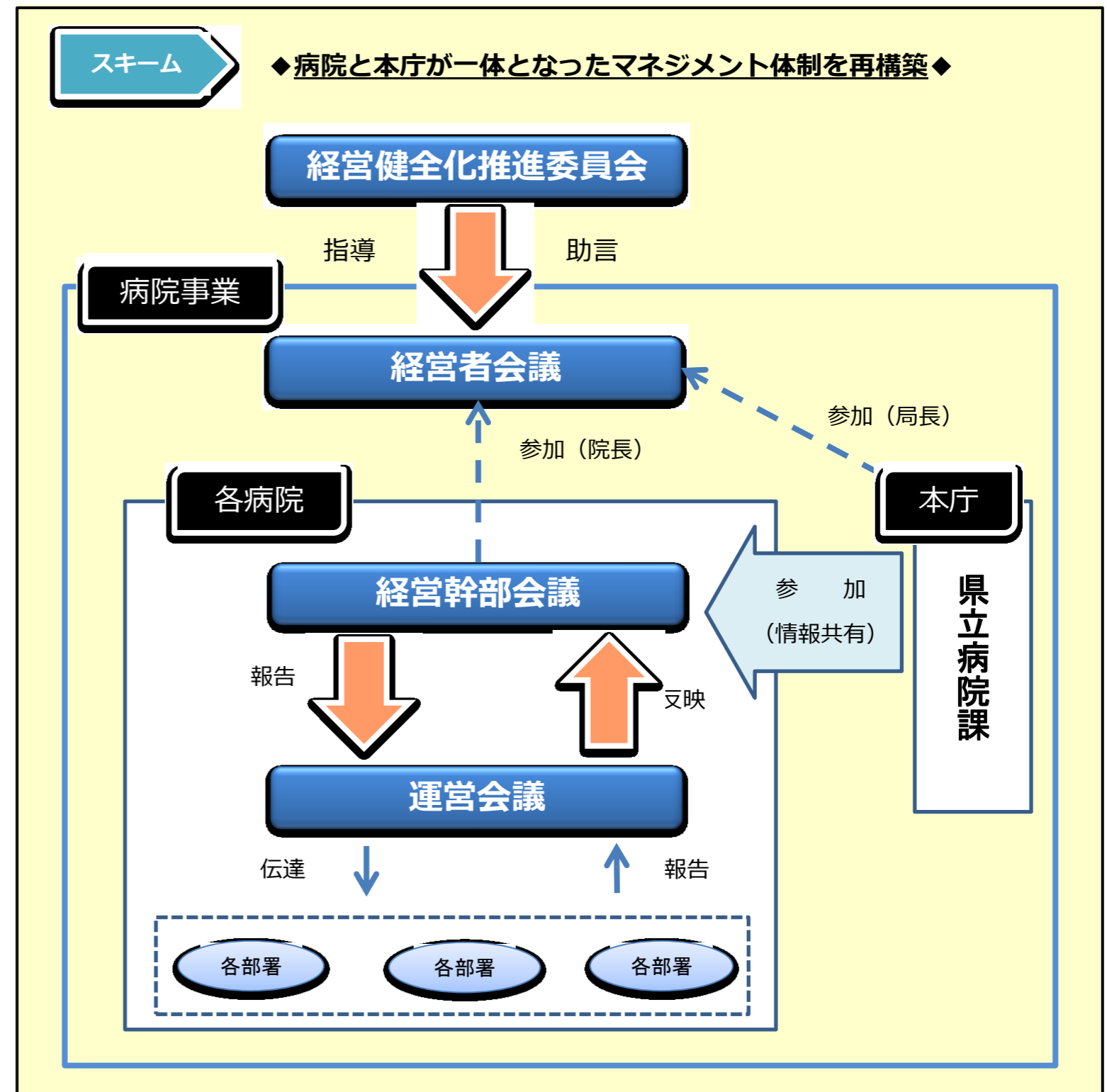
	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25決算
総収益	11,937	12,105	11,147	11,792	11,683
総費用	12,525	12,385	12,154	12,641	12,282
単年度損益	▲ 588	▲ 280	▲ 1,007	▲ 849	▲ 599
経常損益	▲ 533	▲ 236	▲ 707	▲ 215	▲ 507
改革プラン収支計画	▲ 643	▲ 847	▲ 860	▲ 1,440	▲ 1,111
実績-計画	55	567	▲ 147	591	512
(達成状況)	達成	達成	未達	達成	達成



## ■ 経営管理体制 (H24年4月～) ■

名称	主たる役割	構成 (メンバー)	開催頻度
経営健全化推進委員会	経営健全化のための指導助言	外部有識者7名	年1回
経営者会議	病院事業の経営方針の決定	病院: 院長、副院長、看護部長、副看護部長、経営事業部長 本庁: 局長、次長、課長	年2~3回
経営幹部会議	病院の経営方針の決定 経営課題の共有、解決策の立案	病院: 院長、副院長、看護部長、副看護部長、経営事業部長、次長 本庁: 局長、次長、課長	月次
運営会議	経営幹部会議における決定事項等を各部署に伝達	経営幹部会議のメンバー 各部署の代表者	月次

※要綱及び規程により正式な会議として設置。



# ■ 総収益・総費用・単年度損益・医師数（4/1時点）の推移

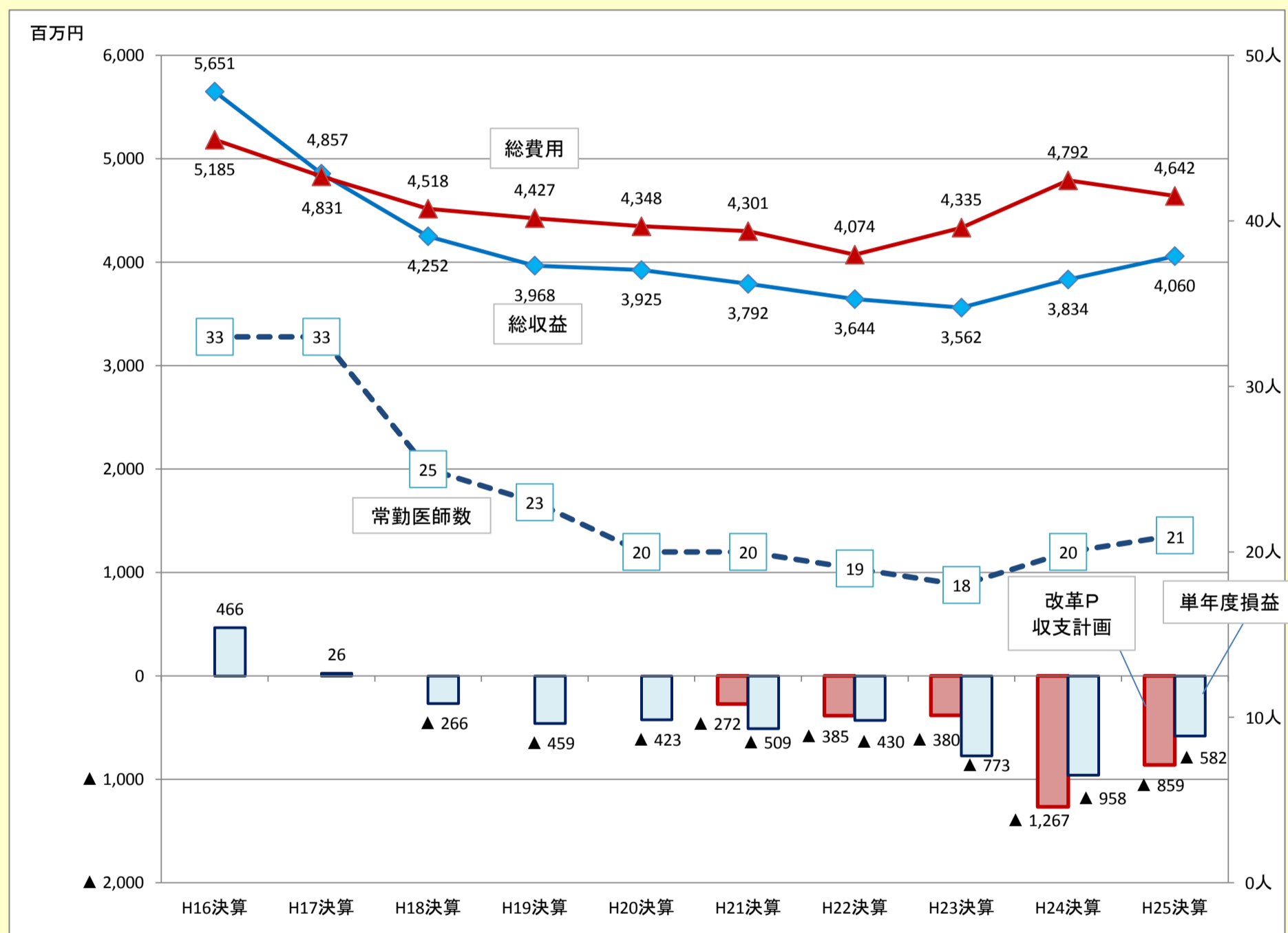
## ■ あき総合病院

(単位：百万円)

	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25決算
総収益	5,651	4,857	4,252	3,968	3,925	3,792	3,644	3,562	3,834	4,060
総費用	5,185	4,831	4,518	4,427	4,348	4,301	4,074	4,335	4,792	4,642
単年度損益	466	26	▲266	▲459	▲423	▲509	▲430	▲773	▲958	▲582
経常損益	178	56	▲247	▲448	▲394	▲486	▲420	▲632	▲419	▲530
改革プラン収支計画						▲272	▲385	▲380	▲1,267	▲859
常勤医師数(4/1現在)	33人	33人	25人	23人	20人	20人	19人	18人	20人	21人

※1 H23決算までは安芸病院と芸陽病院の合計値。

※2 医師数は一般診療科の人数。

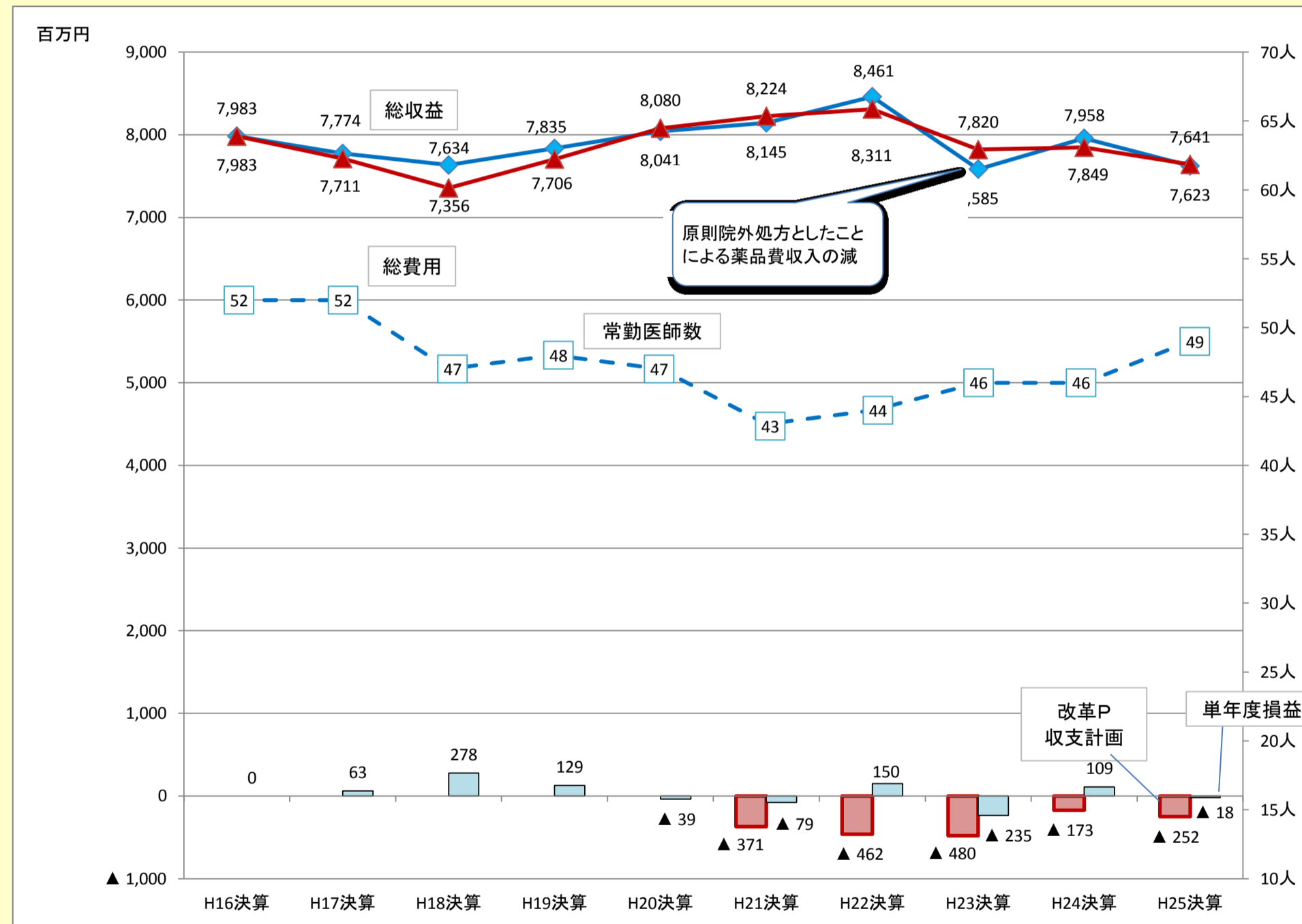


## ■ 幡多けんみん病院

(単位：百万円)

	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算	H25決算
総収益	7,983	7,774	7,634	7,835	8,041	8,145	8,461	7,585	7,958	7,623
総費用	7,983	7,711	7,356	7,706	8,080	8,224	8,311	7,820	7,849	7,641
単年度損益	0	63	278	129	▲39	▲79	150	▲235	109	▲18
経常損益	▲13	101	231	146	17	▲47	184	▲74	204	24
改革プラン収支計画						▲371	▲462	▲480	▲173	▲252
常勤医師数(4/1現在)	52人	52人	47人	48人	47人	43人	44人	46人	46人	49人

※金額はいずれも税抜。



## ■ 今後の課題（医師確保）

### ●常勤医不在診療科の解消

診療科	始期	診療応援
脳神経外科	H18.4～	週2回
麻酔科	H19.1～	週5回

※ 金曜日は隔週

## ■ 今後の課題（医師確保）

### ●常勤医不在診療科の解消

診療科	始期	診療応援
呼吸器科	H17.4～	月2回
眼科	H21.3～	週4回
精神科	H18.4～	-

### ●病理診断医の継続確保

比較損益計算書

1 あき総合病院

(単位:千円)

	H24	H25	H25-H24
1 医業収益	2,768,143	3,012,530	244,387
入院収益	1,782,696	1,967,352	184,656
外来収益	938,299	992,797	54,498
その他医業収益	47,148	52,381	5,233
2 医業外収益	1,046,126	1,046,864	738
一般会計負担金・補助金	1,016,179	1,011,412	△ 4,767
その他	29,947	35,452	5,505
3 特別利益	19,491	927	△ 18,564
収益計	3,833,760	4,060,321	226,561

1 医業費用	4,066,802	4,390,434	323,632
給与費	2,461,100	2,265,876	△ 195,224
うち退職給与金	270,584	48,277	△ 222,307
材料費	532,807	657,270	124,463
経費	782,993	970,956	187,963
その他	289,902	496,332	206,430
2 医業外費用	166,062	199,455	33,393
支払利息及び企業債取扱諸費	90,561	104,087	13,526
その他	75,501	95,368	19,867
3 特別損失	559,236	52,186	△ 507,050
費用計	4,792,100	4,642,075	△ 150,025

当年度損益	△ 958,340	△ 581,754	376,586
-------	-----------	-----------	---------

収益的資金収支	△ 117,545	△ 42,034	75,511
---------	-----------	----------	--------

医業収支	△ 1,298,659	△ 1,377,904	△ 79,245
------	-------------	-------------	----------

経常収支	△ 418,595	△ 530,495	△ 111,900
------	-----------	-----------	-----------

2 幡多けんみん病院

(単位:千円)

	H24	H25	H25-H24
1 医業収益	6,634,424	6,256,517	△ 377,907
入院収益	4,770,153	4,494,333	△ 275,820
外来収益	1,703,208	1,598,330	△ 104,878
その他医業収益	161,063	163,854	2,791
2 医業外収益	1,323,153	1,366,227	43,074
一般会計負担金・補助金	1,248,855	1,294,661	45,806
その他	74,298	71,566	△ 2,732
3 特別利益	438	307	△ 131
収益計	7,958,015	7,623,051	△ 334,964

1 医業費用	7,328,916	7,189,666	△ 139,250
給与費	3,623,328	3,566,478	△ 56,850
うち退職給与金	229,893	112,783	△ 117,110
材料費	1,621,904	1,454,443	△ 167,461
経費	1,284,910	1,341,631	56,721
その他	798,774	827,114	28,340
2 医業外費用	425,139	409,495	△ 15,644
支払利息及び企業債取扱諸費	236,302	222,890	△ 13,412
その他	188,837	186,605	△ 2,232
3 特別損失	95,192	41,610	△ 53,582
費用計	7,849,247	7,640,771	△ 208,476

当年度損益	108,768	△ 17,720	△ 126,488
-------	---------	----------	-----------

収益的資金収支	973,229	828,133	△ 145,096
---------	---------	---------	-----------

医業収支	△ 694,492	△ 933,149	△ 238,657
------	-----------	-----------	-----------

経常収支	203,522	23,583	△ 179,939
------	---------	--------	-----------

3 病院事業計

(単位:千円)

	H24	H25	H25-H24
1 医業収益	9,402,567	9,269,047	△ 133,520
入院収益	6,552,849	6,461,685	△ 91,164
外来収益	2,641,507	2,591,127	△ 50,380
その他医業収益	208,211	216,235	8,024
2 医業外収益	2,484,340	2,530,155	45,815
一般会計負担金・補助金	2,379,021	2,422,945	43,924
その他	105,319	107,210	1,891
3 特別利益	30,843	1,516	△ 29,327
収益計	11,917,750	11,800,718	△ 117,032

1 医業費用	11,511,316	11,696,682	185,366
給与費	6,180,660	5,931,933	△ 248,727
うち退職給与金	500,564	161,147	△ 339,417
材料費	2,154,711	2,111,713	△ 42,998
経費	2,083,218	2,325,029	241,811
その他	1,092,727	1,328,007	235,280
2 医業外費用	593,167	609,775	16,608
支払利息及び企業債取扱諸費	326,863	326,977	114
その他	266,304	282,798	16,494
3 特別損失	674,721	95,071	△ 579,650
費用計	12,779,204	12,401,528	△ 377,676

当年度損益	△ 861,454	△ 600,810	260,644
-------	-----------	-----------	---------

収益的資金収支	843,823	784,784	△ 59,039
---------	---------	---------	----------

医業収支	△ 2,108,749	△ 2,427,635	△ 318,886
------	-------------	-------------	-----------

経常収支	△ 217,576	△ 507,255	△ 289,679
------	-----------	-----------	-----------

※本庁分(収益117,346千円、費用118,682千円)を含む。

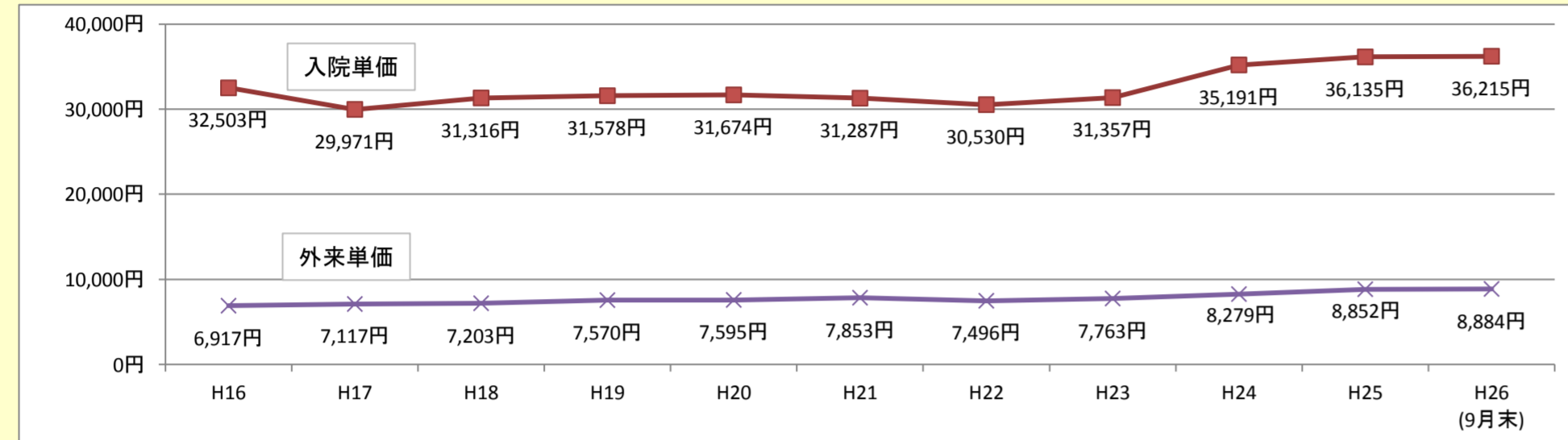
# 県立病院の経営状況 (平成26年9月末)

## ■ あき総合病院

### 〔一般診療科〕

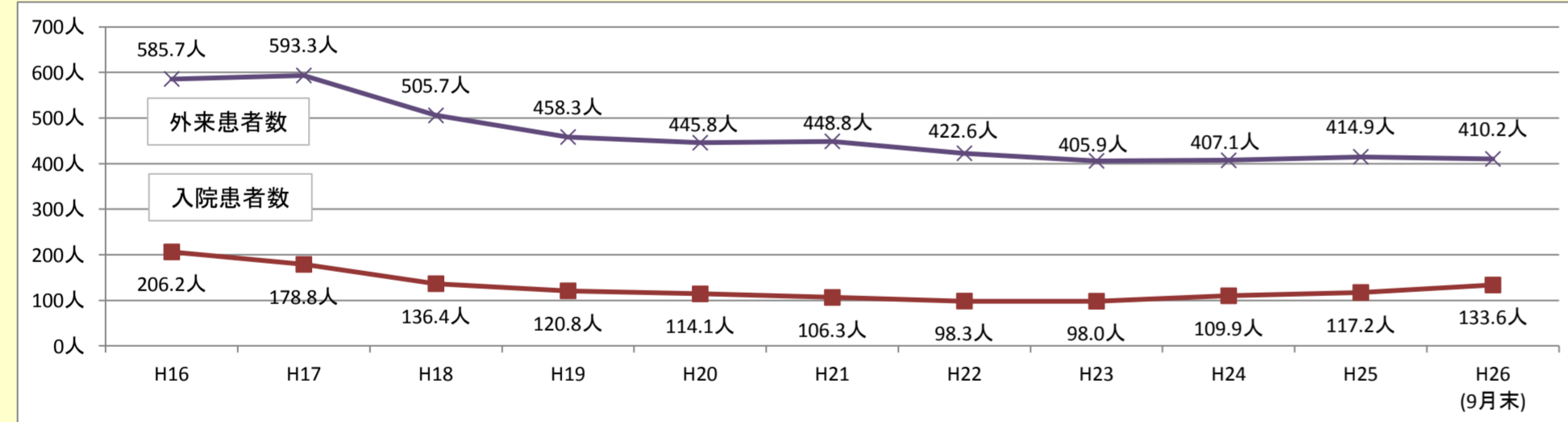
#### 1 患者一人当たりの診療単価の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (9月末)
入院単価	32,503円	29,971円	31,316円	31,578円	31,674円	31,287円	30,530円	31,357円	35,191円	36,135円	36,215円
外来単価	6,917円	7,117円	7,203円	7,570円	7,595円	7,853円	7,496円	7,763円	8,279円	8,852円	8,884円



#### 2 1日平均患者数の推移

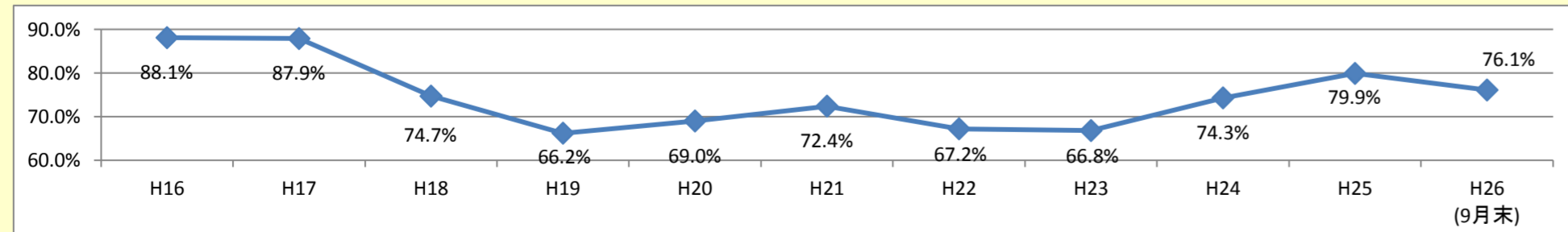
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (9月末)
稼働病床数	230床	201床	182床	182床	182床 (146床)	146床	146床	146床	146床	146床	175床
入院患者数	206.2人	178.8人	136.4人	120.8人	114.1人	106.3人	98.3人	98.0人	109.9人	117.2人	133.6人
外来患者数	585.7人	593.3人	505.7人	458.3人	445.8人	448.8人	422.6人	405.9人	407.1人	414.9人	410.2人



#### 3 病床利用率の推移

※稼働病床、一般病床。

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (9月末)
稼働病床数	230床	201床	182床	182床	182床 (146床)	146床	146床	146床	146床	146床	175床
病床利用率	88.1%	87.9%	74.7%	66.2%	69.0%	72.4%	67.2%	66.8%	74.3%	79.9%	76.1%

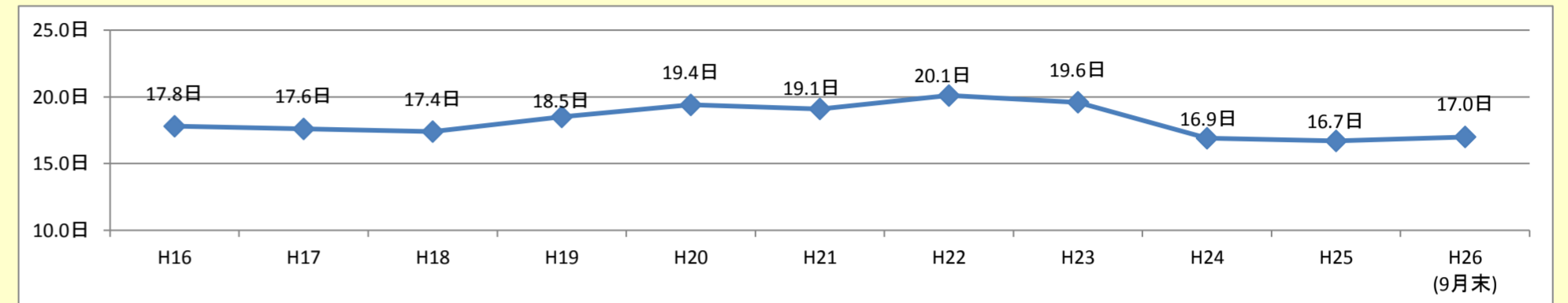


<参考> 月別 病床利用率の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
23年度	60.1%	60.3%	67.9%	61.8%	71.2%	64.2%	67.1%	67.3%	70.5%	69.1%	76.9%	66.2%	66.8%
24年度	65.9%	71.8%	74.1%	79.0%	70.2%	73.2%	72.8%	74.8%	79.5%	79.8%	75.9%	74.7%	74.3%
25年度	75.8%	74.1%	77.1%	77.5%	72.6%	80.0%	83.4%	85.9%	87.1%	85.2%	89.0%	72.4%	79.9%
26年度	63.6%	72.9%	79.1%	81.7%	75.3%	83.7%							76.1%

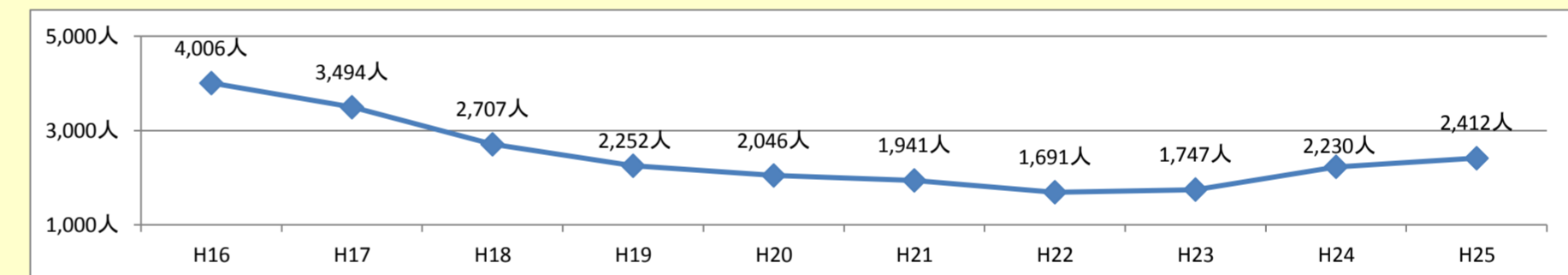
#### 4 平均在院日数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (9月末)
平均在院日数	17.8日	17.6日	17.4日	18.5日	19.4日	19.1日	20.1日	19.6日	16.9日	16.7日	17.0日



#### 5 新入院患者数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
新入院患者数	4,006人	3,494人	2,707人	2,252人	2,046人	1,941人	1,691人	1,747人	2,230人	2,412人



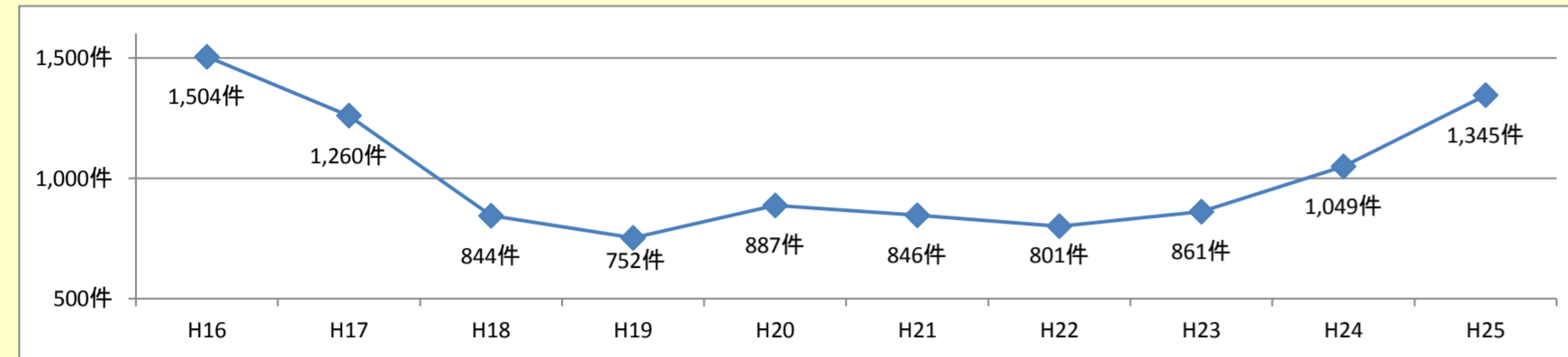
<参考> 月別 新入院患者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
23年度	106人	137人	148人	144人	161人	121人	161人	135人	157人	155人	168人	154人	145.6人
24年度	158人	171人	181人	207人	184人	174人	200人	202人	190人	184人	186人	193人	185.8人
25年度	207人	201人	200人	210人	225人	198人	214人	225人	213人	206人	176人	137人	201.0人
26年度	215人	221人	224人	245人	222人	225人							225.3人

## 6 救急患者の受入状況

● 救急車搬送受入件数

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
件数	1,504件	1,260件	844件	752件	887件	846件	801件	861件	1,049件	1,345件

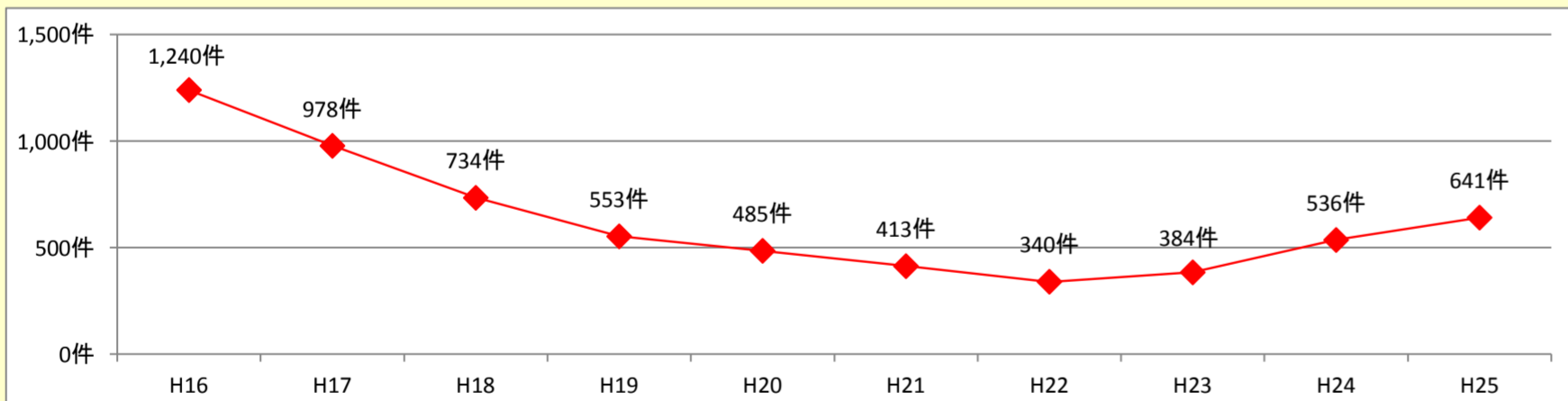


<参考> 月別 救急車搬送受入件数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
23年度	68件	55件	52件	87件	95件	57件	66件	71件	85件	73件	71件	81件	71.8件
24年度	77件	64件	89件	101件	78件	78件	106件	83件	100件	99件	86件	88件	87.4件
25年度	108件	89件	101件	96件	120件	104件	123件	120件	130件	139件	106件	109件	112.1件
26年度	129件	121件	129件	153件	145件	143件							136.7件

## 7 手術件数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
総件数	1,240件	978件	734件	553件	485件	413件	340件	384件	536件	641件
外科	269件	169件	114件	98件	82件	53件	53件	95件	227件	252件
整形	436件	371件	343件	233件	236件	220件	166件	180件	195件	301件
脳外	70件	44件	0件	1件	2件	0件	0件	0件	0件	0件
産婦	157件	135件	64件	23件	17件	22件	20件	23件	19件	17件
眼科	137件	96件	90件	82件	74件	68件	79件	69件	81件	63件
その他	171件	163件	123件	116件	74件	50件	22件	17件	14件	8件



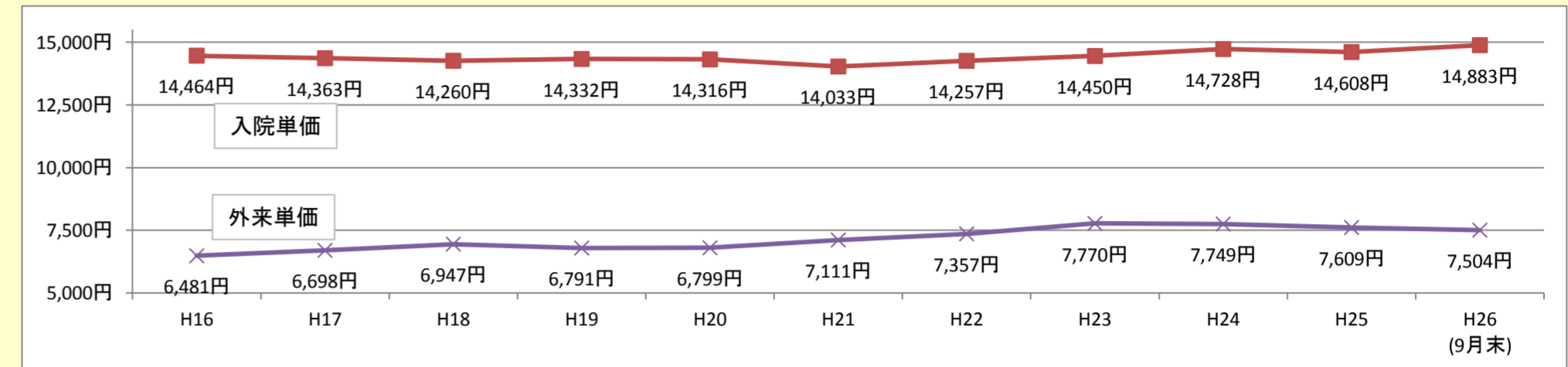
<参考> 月別 手術件数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
23年度	28件	25件	36件	27件	36件	21件	26件	34件	39件	30件	25件	37件	32.0件
24年度	36件	38件	32件	50件	46件	46件	53件	46件	42件	46件	46件	55件	44.7件
25年度	63件	47件	55件	59件	43件	52件	60件	63件	52件	46件	57件	44件	53.4件
26年度	63件	62件	70件	68件	58件	69件							65.0件

## 〔精神科〕

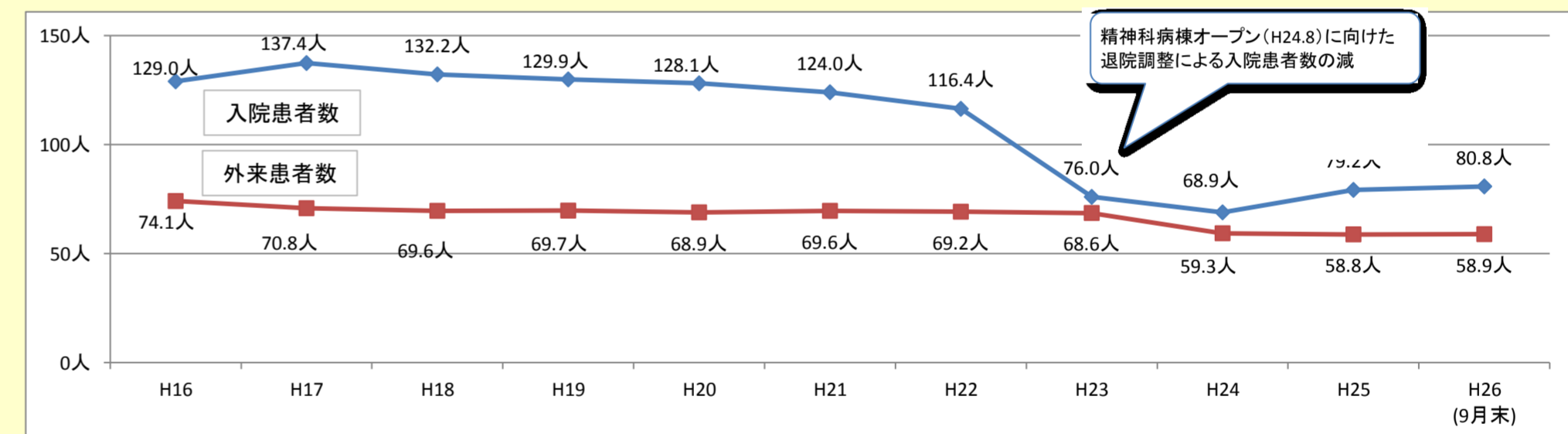
### 1 患者一人当たりの診療単価の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (9月末)
入院単価	14,464円	14,363円	14,260円	14,332円	14,316円	14,033円	14,257円	14,450円	14,728円	14,608円	14,883円
外来単価	6,481円	6,698円	6,947円	6,791円	6,799円	7,111円	7,357円	7,770円	7,749円	7,609円	7,504円



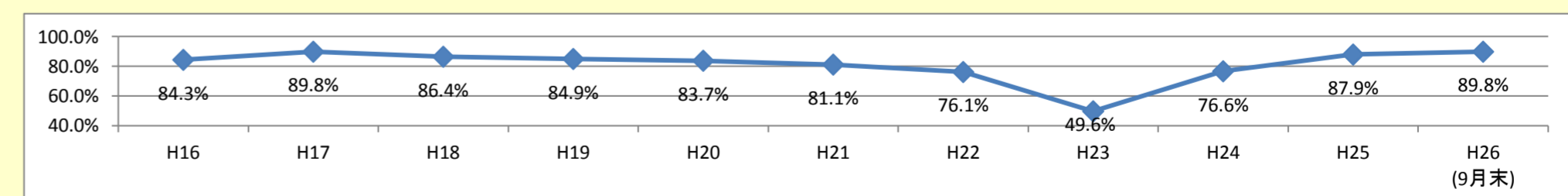
### 2 1日平均患者数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (9月末)
稼働病床数	153床	153床	153床	153床	153床	153床	153床	153床	90床	90床	90床
入院患者数	129.0人	137.4人	132.2人	129.9人	128.1人	124.0人	116.4人	76.0人	68.9人	79.2人	80.8人
外来患者数	74.1人	70.8人	69.6人	69.7人	68.9人	69.6人	69.2人	68.6人	59.3人	58.8人	58.9人



### 3 病床利用率の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (9月末)
稼働病床数	153床	153床	153床	153床	153床	153床	153床	153床	90床	90床	90床
病床利用率	84.3%	89.8%	86.4%	84.9%	83.7%	81.1%	76.1%	49.6%	76.6%	87.9%	89.8%



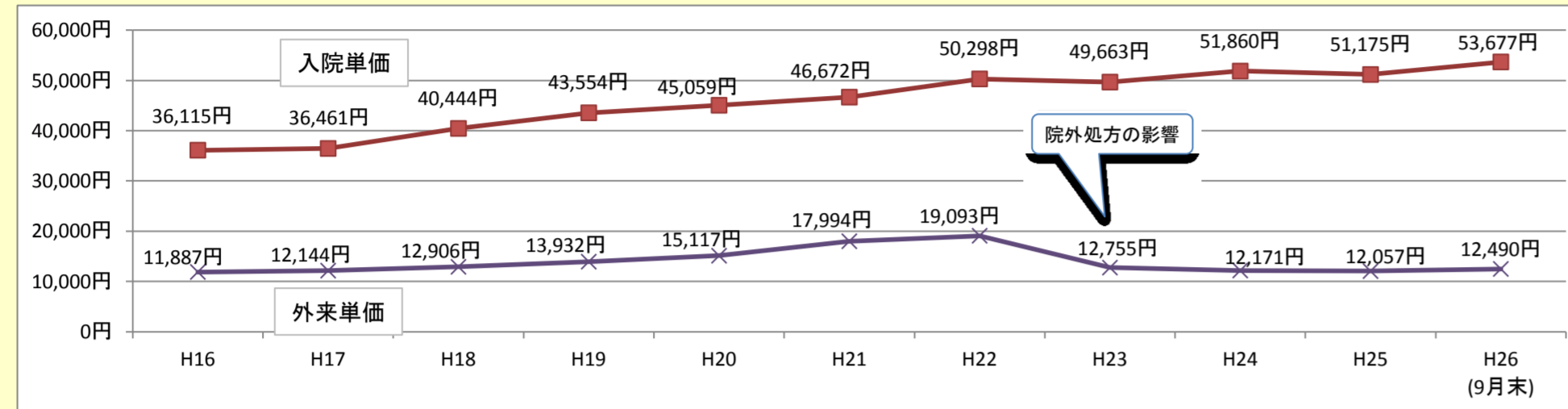
<参考> 月別 病床利用率の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
23年度	57.9%	51.8%	53.4%	51.1%	51.4%	50.6%	49.7%	47.9%	46.2%	46.2%	43.6%	45.9%	49.6%
24年度	76.1%	76.7%	74.2%	76.1%	76.0%	75.6%	76.4%	81.4%	78.0%	74.3%	76.2%	78.2%	76.6%
25年度	81.0%	90.0%	88.6%	86.2%	86.5%	89.0%	90.0%	90.3%	88.7%	87.0%	89.2%	88.7%	87.9%
26年度	91.9%	92.8%	91.3%	87.0%	85.6%	90.3%							89.8%

# ■ 幡多けんみん病院

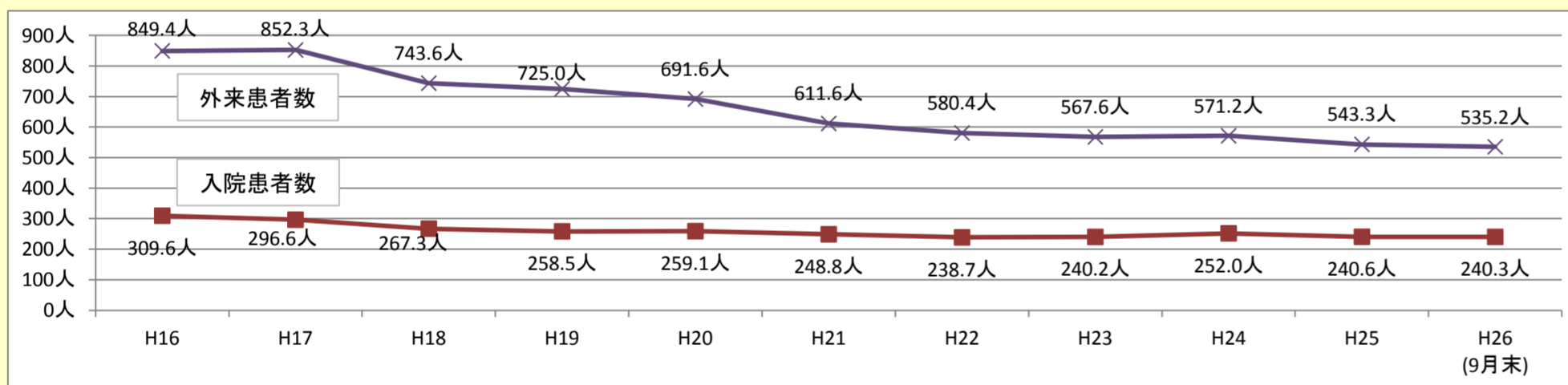
## 1 患者一人当たりの診療単価の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (9月末)
入院単価	36,115円	36,461円	40,444円	43,554円	45,059円	46,672円	50,298円	49,663円	51,860円	51,175円	53,677円
外来単価	11,887円	12,144円	12,906円	13,932円	15,117円	17,994円	19,093円	12,755円	12,171円	12,057円	12,490円



## 2 1日平均患者数の推移

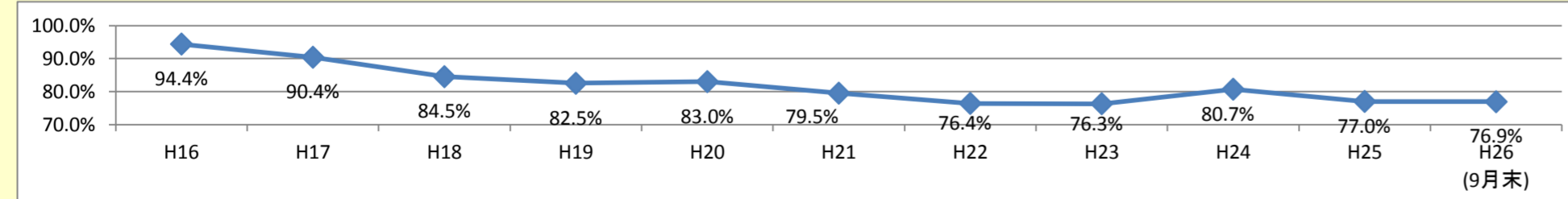
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (9月末)
稼働病床数	324床	324床	324床 (311床)	311床	311床	311床	311床	311床	311床	311床	311床
入院患者数	309.6人	296.6人	267.3人	258.5人	259.1人	248.8人	238.7人	240.2人	252.0人	240.6人	240.3人
外来患者数	849.4人	852.3人	743.6人	725.0人	691.6人	611.6人	580.4人	567.6人	571.2人	543.3人	535.2人



## 3 病床利用率の推移

※稼働病床、一般病床。

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (9月末)
稼働病床数	324床	324床	324床 (311床)	311床	311床	311床	311床	311床	311床	311床	311床
病床利用率	94.4%	90.4%	84.5%	82.5%	83.0%	79.5%	76.4%	76.3%	80.7%	77.0%	76.9%

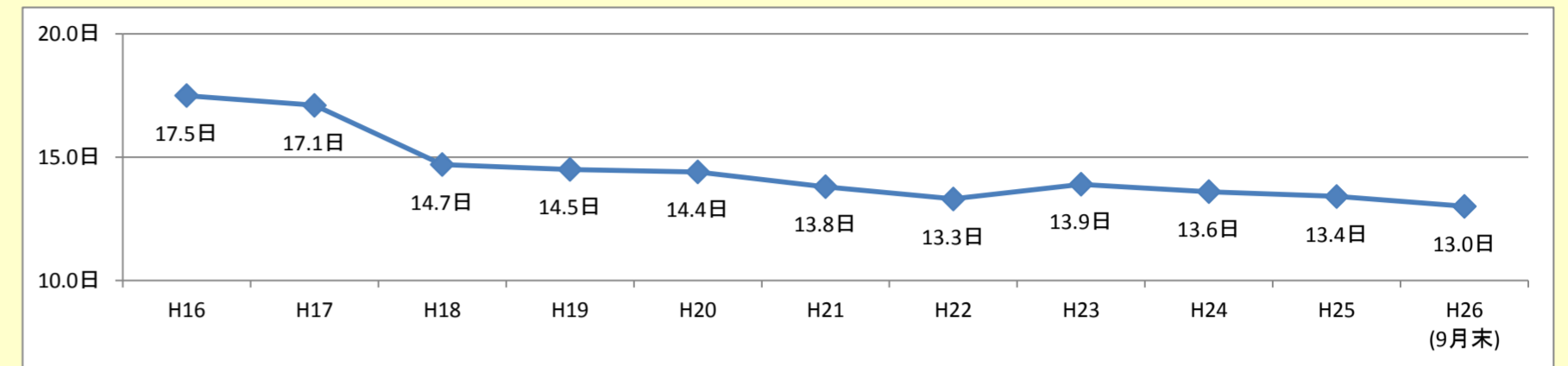


<参考> 月別 病床利用率の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
23年度	76.0%	71.8%	75.4%	75.1%	76.3%	74.6%	74.2%	74.8%	73.4%	77.2%	85.1%	82.1%	76.3%
24年度	83.4%	85.9%	83.5%	79.7%	81.7%	78.8%	81.5%	75.0%	71.9%	78.8%	86.3%	82.3%	80.7%
25年度	78.3%	74.2%	78.7%	80.1%	81.0%	77.4%	75.2%	76.6%	76.1%	75.7%	76.3%	74.4%	77.0%
26年度	80.0%	76.7%	80.5%	72.5%	71.9%	80.3%							76.9%

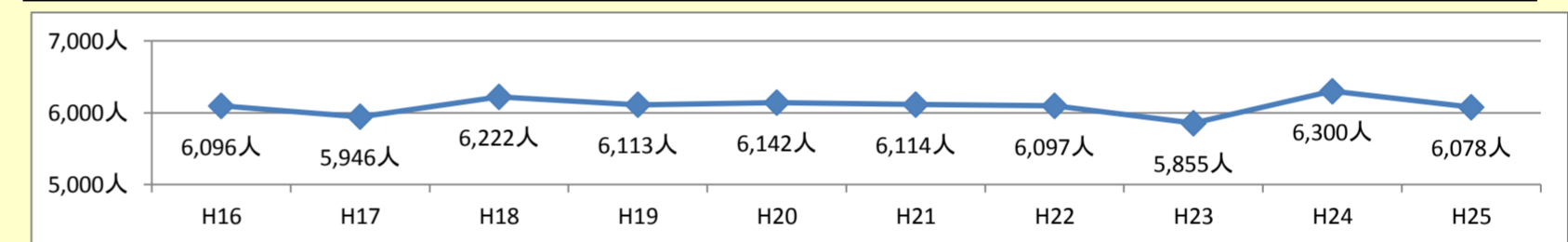
## 4 平均在院日数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (9月末)
平均在院日数	17.5日	17.1日	14.7日	14.5日	14.4日	13.8日	13.3日	13.9日	13.6日	13.4日	13.0日



## 5 新入院患者数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
新入院患者数	6,096人	5,946人	6,222人	6,113人	6,142人	6,114人	6,097人	5,855人	6,300人	6,078人



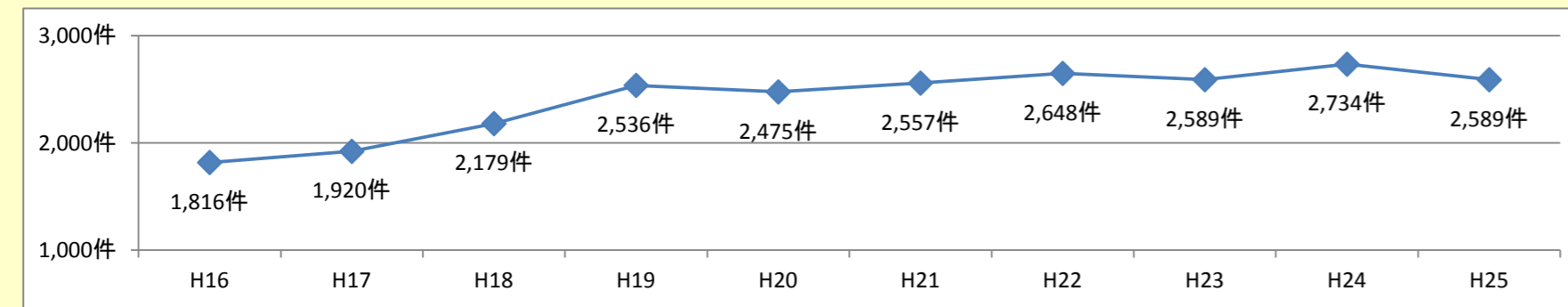
<参考> 月別 新入院患者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
23年度	475人	479人	514人	485人	505人	453人	497人	472人	449人	513人	516人	497人	487.9人
24年度	535人	587人	535人	510人	558人	517人	543人	492人	481人	561人	495人	486人	525.0人
25年度	493人	505人	514人	548人	499人	484人	516人	493人	492人	527人	467人	540人	506.5人
26年度	551人	518人	544人	529人	548人	551人							540.2人

## 6 救急患者の受入状況

● 救急車搬送受入件数

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
件数	1,816件	1,920件	2,179件	2,536件	2,475件	2,557件	2,648件	2,589件	2,734件	2,589件

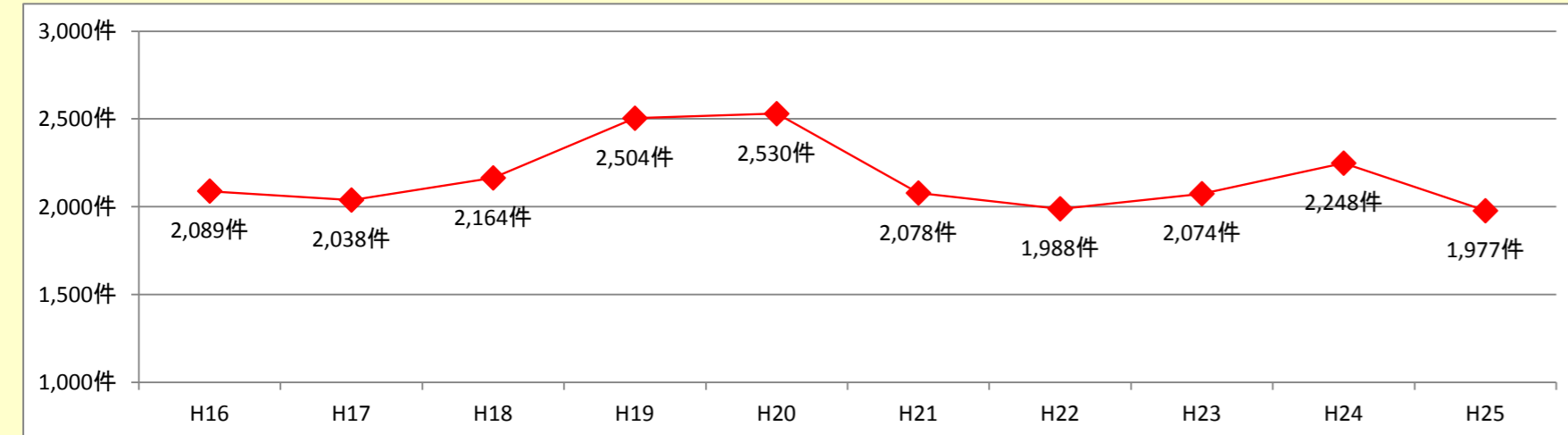


<参考> 月別 救急車搬送受入件数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
23年度	186件	176件	196件	213件	252件	210件	211件	211件	229件	283件	226件	196件	215.8件
24年度	225件	220件	219件	211件	255件	177件	228件	201件	249件	268件	243件	238件	227.8件
25年度	199件	218件	218件	235件	256件	223件	200件	191件	227件	254件	176件	192件	215.8件
26年度	184件	183件	202件	200件	228件	198件							199.2件

## 7 手術件数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
総件数	2,089件	2,038件	2,164件	2,504件	2,530件	2,078件	1,988件	2,074件	2,248件	1,977件
外科	390件	415件	466件	509件	488件	475件	453件	464件	465件	468件
整形	614件	608件	553件	818件	775件	779件	748件	769件	800件	775件
脳外	66件	94件	95件	123件	133件	124件	119件	106件	103件	91件
産婦	239件	243件	232件	210件	240件	208件	254件	261件	258件	203件
眼科	278件	246件	357件	388件	353件	47件	97件	123件	170件	118件
その他	502件	432件	461件	456件	541件	445件	317件	351件	452件	322件



<参考> 月別 手術件数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
23年度	180件	162件	175件	170件	186件	161件	173件	166件	168件	170件	164件	199件	172.8件
24年度	179件	215件	189件	183件	213件	170件	203件	171件	184件	175件	181件	185件	187.3件
25年度	172件	180件	173件	185件	186件	152件	169件	154件	152件	146件	155件	153件	164.8件
26年度	180件	190件	201件	179件	188件	183件							186.8件

「第5期経営健全化計画の取組状況」【県立病院課】

H26年度 第5期経営健全化計 画重点取組項目	課題	目標値			No.	具体的な取組内容	達成状況	H26年度 第2四半期評価			コメント					
		業績評価指標	H24年度 (実績)	H25年度 (実績)				H26年度 (目標値)	計画 達成	進捗状況		評価 保留				
										計画以上			計画通り	遅延		
2 経営基盤の強化	(1)マネジメントの充実	①経営幹部会議のあり方の検討				1	幡多けんみん病院に導入したコンサルタントの助言を得ながら会議資料や会議の進行について改善を行う【H26年度】	26.6～ [幡多]収支状況報告書試行 26.6.26 あき経営幹部会議にて意見交換 → 新様式を再検討					○	・幹部会議の収支状況報告書の様式について、年内を目途に再検討を行う。		
		②病院及び本庁の経営管理能力の向上				2	病院事務部の組織再編を実施	26.4.1 組織再編実施 → 病院「事務部」を「経営事業部」に、「総務課・経営企画課」の2課体制を「経営事業課」の1課体制に再編 未実施	○							
						3	事務職員に対する研修体制を充実【H26年度～】									
	(4)未収金の縮減	①不良債権化の防止					4	未収金対応マニュアルに沿った対応を徹底。誓約書の求めやクレジットカード決済の活用【継続】	継続							
		②悪質滞納者への対応強化					5	回収委託の拡充【継続】 →委託時期(現状:発生から最短9月後)を前倒しするなど、回収委託を積極的に活用	検討中							
							6	法的措置(支払督促)の実施【継続】 →年1回、判定会を開催し、該当者に対して法的措置(支払督促)を実施	検討中							
	(5)資産管理の適正化	①棚卸資産管理の改善					7	病院と本庁職員で構成する対策チームを再度組織し、再検討	未実施							
							8	棚卸資産管理マニュアルの見直し								
							9	受払記録の適正化								
	(6)遊休資産の売却	①売却価格の見直し					10	売却に至らない物件について、売却価格を見直し、再度入札を実施	【愛宕山南、宝永町、四万十市谷田】 26.10.27～11.10 期間入札							
		②建物の早期解体					11	【吸江看護師宿舎】起債を活用して建物の解体を実施	26.9月 解体前に建物付で入札実施→売却済み	○						売却により解体事業実施不要
							12	【旧宿毛病院】起債を活用して建物の解体を実施	26.9.6 設計委託業務開始(～12.4) 26.10.16 損失補償事前調査開始(～27.1.13)							事業進捗3か月遅れ (27.9月完了予定)
3 医師をはじめとする医療スタッフの確保	(1)医師の確保	①高知大学医学部への訪問				13	公営企業局長と病院長が継続的に高知大学医学部を訪問し、常勤医の派遣や診療応援の回数増などを要請	26.6.3 学長・学部長・病院長訪問(局長) 26.6.20 訪問(あき総合病院長)								
		②健康政策部・高知医療再生機構との連携の強化				14	県奨学金受給医師の受入	随時検討								
						15	高知大学から派遣が困難な診療科の医師の確保									
						16	再生機構からの医師の派遣受入									
	④医師受け入れ体制の強化					17	両病院の経営事業部(旧事務部)に「医師支援チーム」を新設し、担当職員を配置することで、院内外に向けて医師の招へいに向けた積極的な姿勢を打ち出す	26.4.1 医師支援担当チームの配置 26.5.23 医師支援担当者会の開催								
	(2)医師以外の医療スタッフの確保	①採用試験の改善					18	可能な限り、年度の早い時期に採用試験を実施	26.4.3 第1回採用選考試験募集開始 →26.7.22 合格発表 26.10.31 第2回採用選考試験募集開始 →26.2月上旬合格発表予定							
③コメディカル職種の採用						19	少人数のコメディカル職種の計画的採用を検討	計画的に採用試験を実施								
4 人材の育成	(1)若手医師の養成	④後期研修の実施(病院GP養成)【継続】				20	病院GPプログラム検討委員会の開催	検討中								
	(4)事務職員の専門性の向上	①交流事務職員の能力向上				21	初任者研修の実施(研修内容:県立病院の現状、経営状況、地方公営企業会計制度、知事部局との違い等)【H26年度～】	検討中								
						22	職位や職務内容に応じた研修の実施【H26年度～】 ⇒自治体病院協議会等が開催する研修に、職位や職務内容に応じて職員を指名し、受講させる仕組みを構築する(「手上げ方式」から「指名方式」へ移行)	26.5.23 全国病院事業管理者研修会(局長) 26.5.30 全自病事務長部会研修会(課長補佐) 26.6.20 自治体病院管理者研修会(次長) 26.7.31・8.1 全国自治体病院協議会事務長養成研修会(課長補佐) 26.8.22 病院事業経営実務講習会(担当) 26.8.28・29 全国病院事業管理者・事務責任者会議(局長、チーフ) 26.8.30 病院経営改善セミナー(次長、課長) 26.9.19 病院事業経営実務講習会(チーフ) 26.10.16 地方公営企業財務会計講習会(担当)								
						23	「人材育成基本方針」の着実な実行【継続】	継続して実行								
				24	新採研修の実施【継続】	検討中										
				25	外部専門機関との連携による研修プログラムの作成の検討【H26年度】	検討中										
5 南海トラフ地震対策の充実・強化	(1)災害時医療提供体制の充実	①BCPの策定及び実効性の担保				26	災害時の本庁職員の役割を明確化【H26年度】	検討中								
		②職員安否確認システムの運用開始				27	職員安否確認システムの運用テストと運用開始【H26年度】	職員に周知システム登録を促進 26.11.4 運用訓練実施								
		③災害時備蓄の拡充				28	水及び食糧の合計7日分の確保【H26年度】 H25年度:食糧3日分を確保	26.7.3 食糧備蓄担当者会実施								
						29	特別食に対応した備蓄食糧の確保【H26年度】	No.28と併せて検討								



「第5期経営健全化計画の取組状況」【あき総合病院】

H26年度 第5期経営健全化計 画重点取組項目	課題	目標値			No.	具体的な取組内容	達成状況	H26年度 第2四半期評価				コメント					
		業績評価指標	H24年度 (実績)	H25年度 (実績)				H26年度 (目標値)	計画 達成	進捗状況			評価 保留				
										計画以上	計画通り			遅延			
1 医療機能 の充実	(1)医療の質的 向上	①救急患者受入体制 の充実	救急車受入件数	1,061	1,350	1,380	1	救急に必要な医師の確保を図る【継続】	H26/4 循環器内科常勤医師着任								
			東部3消防本部管外 搬送割合(暦年)	32.0%	29.8%	—	2	消防本部との連携を充実する【継続】	救急画像カンファレンスの開催(月1回)								
		②手術体制の充実	手術件数	536	641	735	3	常勤麻酔医を確保し、毎日、手術が可能な体制を整える	診療応援週5日手術ができる体制を整えている。								
		③がん(悪性新生物) 診療体制の充実 <地域がん診療病院の指 定に向けた取り組み>	がん手術件数	60	56	—	4	地域がん診療病院の指定を目指した取り組みを進める(目標:最短H28年度) ⇒院内体制の整備を進め、最短でH28年度に指定を目指す									
		④循環器疾患治療の 充実					5	循環器内科医を複数配置し、心臓カテーテル治療・検査や急性心筋梗塞の治療を実施できる体制を整える	H26.4 循環器内科常勤医師着任により2名体制	○							
		⑥DPC病院へのH28 年度移行に向けた取 り組み					6	DPC準備病院として、DPCデータを遅滞なく毎月提出する【H26年度～】	H26.7.22第1回目、10.17第2回目データ提出期限まで にデータ提出を行った。								
							7	DPC制度に関する勉強会の実施【継続】	H26.9.24 ニチイによる勉強会の実施								
							8	データ分析の精度向上(分析ソフトの導入、担当職員のスキルアップ(研修の実施等))【H26年度～】	H26.7 分析ソフト(EVE)導入。DPC勉強会へ参加。								
							9	ジェネリックへの切替の促進 ⇒大学病院の例も参考に、ジェネリックへの切替を進めていく【H26年度～】	後発品使用率算出可能なソフトを活用し、薬剤部と連 携し、後発品への切替の促進をしていく。 9月末時点で97品目切り替え済み。								
						10	医療の標準化 ⇒院内クリニカルパスの整備【H26年度～】	業務改善委員会等で協議し、クリニカルパスが必要な 場合は移行を進めていく。業務改善委員会で検討中。									
	(2)第三者機能 評価の認定取得	①H27年度内に病院 機能評価の認定 取得	受審				11	受審申込【H26年度】	H26.10.16 受審申込書を提出 H26.11.13 院内の説明会を開催予定								
									受審病院説明会に出席								
										院内体制の整備(各項目の事前チェックの実施)							
										受審【H27年度】							
	(3)地域連携の 推進	①院内の体制充実					12	MSWを1名増員【H26年度】	H26.4.1より正職員1名増員済 (育休1名分臨時を1名雇用)	○							
									看護師をPSW養成学校に派遣【H25年度～】								
		②地域の医療機関、 福祉介護施設との連 携強化	紹介患者数	1,421	1,532	1,628	13	医師会との意見交換会を開催【継続】 (H25年度開始) H25.8 安芸郡医師会との意見交換会開催	H26.7.18地域連携懇談会開催								
			逆紹介患者数	2,419	2,587	2,752	14	医師会や行政等の会議に出席し、「顔の見える関係づくり」を行う【継続】 画像症例検討会の実施 H24年度:7回 H25年度:7回	H26.4～6:画像症例検討会3回実施 H26.7～9:画像症例検討会2回実施 7月18日:地域連携懇談会								
							15	地域連携システム(医療情報システム)の構築に向けた検討【H26年度～】	あきぐんネットH26.10.20開始								
	(4)患者サービ スの向上	①接遇の向上					16	外部講師による接遇研修の実施【H26年度～】	H26.9 実施。								
							17	医事業務受託者の接遇チェックを実施【継続】 H24年度:年3回実施 総合評価:良 H25年度:年3回実施 総合評価:良	H26年度については、10月以降実施予定。								
							18	総合案内体制の充実【H26年度～】	ニチイ委託 常時1名配置								
						19	患者待ち時間調査の実施【継続】	患者満足度調査、H26.7.21～25(外来)、H26.7.28～ 8.7(入院)実施									
②給食メニューの改善						20	患者満足度調査(嗜好調査)の実施【継続】 H24年度:2回実施 満足度69% H25年度:2回実施 満足度71%	H26.6 並菓食の嗜好調査実施済み 「ふつ」「やや満足」「満足」の合計87% H26.8 特別食の嗜好調査実施済み(身体科のみ) 「ふつ」「やや満足」「満足」の合計95.2%									
		③住民向け広報活動 の充実					21	「ふれあい医療教室」の開催【継続】 H24年度:3回開催 平均参加人数65人 H25年度:3回開催 平均参加人数	H26.7.5あき総合病院で開催。参加人数197人 H26.10.25に室戸市保健福祉センターで開催 産科人 数208人								
						22	広報誌の充実 H24年度:3回発行 2,900部 H25年度:3回発行 4,500部	H26.7発行:1500部、H26.10発行:1500部									

「第5期経営健全化計画の取組状況」【あき総合病院】

H26年度 第5期経営健全化計 画重点取組項目	課題	目標値			No.	具体的な取組内容	達成状況	H26年度 第2四半期評価			コメント						
		業績評価指標	H24年度 (実績)	H25年度 (実績)				H26年度 (目標値)	計画 達成	進捗状況		評価 保留					
										計画以上			計画通り	遅延			
2 経営基盤の強化	(2)収益の確保 ①入院収益の増に向けた取り組み 病床利用率の目標設定	(一般)一日平均入院患者数	109.9	117.2	140.0	23	入院患者数増を図るために病床利用率に目標を設定  (一般)【H26年度】80.0%(一日平均患者数140人) 【H27年度】84.0%(一日平均患者数147人) 【H28年度】85.1%(一日平均患者数149人)  (精神)【H26~28年度】86.7%(一日平均患者数78人)	(一般)【H26年度】病床利用率76.1% (一日平均患者数133.6人)  (精神)【H26年度】病床利用率89.7% (一日平均患者数80.8人)									
		(一般)病床利用率	74.3%	79.9%	80.0%												
		(一般)入院診療単価(円)	35,191	36,135	40,000												
		(一般)新入院患者数	2,314	2,501	3,000												
		(精神)一日平均入院患者数	68.9	79.2	78.0												
		(精神)病床利用率	76.6%	87.9%	86.7%												
		(精神)入院診療単価(円)	14,728	14,608	15,000												
	経常収支比率	90.1%		86.3%													
	(2)収益の確保 ②診療報酬改定への適切な適応						24	診療報酬制度(施設基準)への適切な対応(H26.4月、H28.4月)	H26.4 施設基準への対応を行った。								
							25	医療事務委託会社との連携による職員の診療報酬知識の向上【H26年度~】	未定								
26							DPCデータの分析と活用の促進(DPC分析ソフトの導入)	H26.7 DPC分析ソフト導入									
(3)費用の適正化 ③コンサルタントの導入の検討						27	開院後の状況によっては、コンサルタント導入を検討	検討中									
						(3)費用の適正化 ①材料費の適正化	薬品回転期間(回)	22.1	28.3	—	9	DPC病院への移行に伴い、ジェネリックへの切替を促進。 ⇒医療安全面も考慮し、高知大学のジェネリック採用品目も参考に採用品目の検討	後発品使用率算出可能なソフトを活用し、薬剤部と連携し、後発品への切替の促進をしていく。 9月末時点で97品目切り替え済み。				
							診療材料回転期間(回)	39.0	35.0	—	28	同規模病院との比較も参考に、災害時の必要量も考慮しながら、在庫数量の適正化を図る	回転期間 H26.4~6 薬品:32.7日、診療材料:35.3日 回転期間 H26.7~9 薬品:26.9日、診療材料:33.6日				
							薬品値引率	9.35%	9.55%	—	29	同種同効品・類似品の集約や契約の見直しなどにより、材料費の低減を目指す。引き続き2病院共同で契約交渉を実施。幡多けんみん病院に導入したコンサルタントによる分析結果を踏まえ、調達のあり方を見直す。【継続】	薬品値引交渉:2病院で情報交換を行っている。 診療材料:選定委員会を立ち上げ品目の見直し、価格交渉にあたっている。				
(3)費用の適正化 ④診療材料(インプラント)値引率						11.99%	11.19%	—									
						(4)未収金の縮減 ①不良債権化の防止											
	30	未収金対応マニュアルに沿った対応を徹底。誓約書の求めやクレジットカード決済の活用【継続】	督促状一斉送付を年3回実施予定 (9月実施、12月予定、翌年4月予定)														
3 医師をはじめとする医療スタッフの確保	(1)医師の確保 ④医師受け入れ体制の強化						31	両病院の経営事業部に「医師支援チーム」を新設し、担当職員を配置することで、院内外に向けて医師の招へいに向けた積極的な姿勢を打ち出す	H26.4~医師支援担当チームの配置 H26.5 医師支援担当者会の開催								
							(2)医師以外の医療スタッフの確保 ②応募者増への取り組み(積極的なリクルート活動を実施)							32	応募者向けのPR冊子の作成		
	HPでの広報の充実	病院HPにも募集について掲載															
	学生実習の積極的な受け入れ	H26.4~6 看護実習生を5組13名を受入れ H26.7~9 看護実習生を3組11名を受入れ 次年度の実習に向け高知大学と打合せ中															
	病院見学の積極的な受け入れ	H26.4~6 病院見学を看護1組2名を受入れ H26.7~9 病院見学者を看護1組22名を受入れ															
	33	各種養成学校の定期訪問の実施	H27.3 訪問を予定														
	(3)職員の処遇改善 ①医師の受け入れ体制の充実・勤務環境の改善	医師事務補助者数(診療報酬加算)	2+精1(75対1)	5+精1(30対1)	2名増員			34	医師事務補助者の増員【H26年度】 ⇒2名増員の計画	H26.5 1名増員							
35								看護補助者の増員を検討【継続】	2名増員。今後も引き続き募集を行う。								
36								新しい看護方式(PNS)導入について検討を始める【H26年度】	導入の周知を図っている。また、福井大学に2月~3月に見学予定。								

「第5期経営健全化計画の取組状況」【あき総合病院】

H26年度 第5期経営健全化計 画重点取組項目	課題	目標値			No.	具体的な取組内容	達成状況	H26年度 第2四半期評価			コメント			
		業績評価指標	H24年度 (実績)	H25年度 (実績)				H26年度 (目標値)	計画 達成	進捗状況		評価 保留		
										計画以上			計画通り	遅延
4 人材の育成	(1)若手医師の養成	①院内体制の整備: ワンストップ窓口 の設置				31	両病院の経営事業部(旧事務部)に「医師支援チーム」を新設。専任担当職員を配置し、大字や研修医の一元的な窓口とする<再掲>	H26.4~医師支援担当チームの配置 H26.5 医師支援担当者会の開催			○			
		②卒前教育への協力	医学部学外実習 生受け入れ件数 (人)	21	41	—	37	学外実習生の積極的な受け入れ【継続】	H26.4~6 臨床実習Ⅱ(6年生) 9名 臨床実習Ⅰ(5年生) 6名 総合内科実習(5年生) 2名 H26.7~9 臨床実習Ⅰ(5年生) 20名 総合内科実習(5年生) 8名			○		※10月以降 臨床実習Ⅰ13 名、総合内科実習12名受入 予定
							38	地域枠学生の受け入れ ⇒安芸地域医療道場(仮称)の開始に向けて関係機関(高知大、健康政策部等)との協議を実施【H26年度】	H26.8 へき地医療夏期実習2名、病院実習(4年生)2 名			○		※10月以降 病院実習(4年 生)4名受入予定
		③初期臨床研修の実 施	協力型研修医受 入実績(人)	1	6	—	39	基幹型臨床研修病院の指定に向けた取り組み【H26・27年度】  全ての指定要件を充足する取り組み、研修プログラムの策定【H26年度】  指定申請(6月)、研修医募集(マッチング参加)【H27年度】  研修開始【H28年度】	平成27年度申請要件クリアに向け、新入院患者数増 の取組みと、剖検が行えるよう設備を整え、病理解剖 マニュアルを準備(H26.10.7策定)			○		
		④後期研修の実施 (病院GP養成)【継続】					40	高知県立病院群家庭医・総合医養成後期研修プログラム(H25.11認定)の実施  ・プライマリ・ケア連合学会総会(H26.5岡山)にPRブースを出展 ・ホームページ、パンフレット等による広報活動	H26.5 プライマリ・ケア連合学会総会にPRブースを出 展 H26.8 H27年度後期研修医募集要項をホームペー ジに掲載			○		
	⑤専門医等取得体制 の整備【継続】					41	専門医取得体制の整備【継続】  H25年度に締結した「協定」に基づき、地域医療支援センターが中心となって実施する、医師のキャリア形成支援の取 組みに主体的に協力する	H26.4 教育連携協定締結に伴う説明会出席			○		※H26.10YMDP医師育成プ ログラム委員会出席予定	
	(2)看護師の専 門性の向上	①認定看護師の 更なる養成					42	救急、皮膚排泄ケア、緩和ケア、感染管理、透析、摂食嚥下障害について養成を検討 H25年度時点 ・認定看護管理者:1名 ・専門看護師:がん1名 ・認定看護師:皮膚・排泄ケア1名、感染管理1名 計2名 (養成中)認知症1名 ・精神科認定看護師:行動制限最小化1名、精神科身体合併症1名 計2名	認知症の認定看護師。H27.7.3に合格通知。手続き完 了。	○				
		②助産師の養成・確 保					43	高知大への派遣(候補がいる場合)	今年は該当者なし。				○	
		③特定看護師制度へ の対応【H26年度】					44	特定看護師制度実施後の他院の状況を踏まえ、適切に対応する	特定看護師について制度が実施に至らず、経過を見 ている。				○	
		④若手看護師の育成 【H26年度】					36	新しい看護方式(PNS)導入について検討を始める <再掲>	導入の周知を図っている。また、福井大学に2月~3月 に見学予定。			○		
(3)コメディカル の専門性向上					45	医療提供に必要な資格(サブスペシャリティ)については、公費負担による資格取得を促進する ⇒必要な資格の洗い出しと予算化【H26年度】 研修等への派遣【H27年度】				○		※H26.10 H27年度研修費 予算要望		
5 南海トラフ地震 強化 対策の充実・	(1)災害時医療 提供体制の充実	①BCPの策定及び 実効性の担保				46	BCPの作成【H26年度】	10月末に策定委員会を設置し着手予定。				○		
		②職員安否確認シス テムの運用開始				47	職員安否確認システムの運用テストと運用開始【H26年度】	運営会議で職員に周知しシステム登録を促進			○			
		④DMATの体制充実				48	研修を受講し2チーム体制に復元【H26年度】 H25年度:1チーム	4月の人事異動により2チーム体制に復元した。 9月に看護師1名がDMAT隊員資格を取得した。	○				調整員1名の研修受講は選 考漏れとなった。	
	(2)施設・設備・ 機器の再点検	②災害時における燃 料・水源の確保【H26 年度】				49	非常用自家発電装置の燃料タンクの増設【H26年度】	H26.10 施工予定			○			
	(3)診療情報の 保全	①診療情報の県外保 全				50	「県医療情報通信技術(ICT)連絡協議会」に参画 ⇒県内12病院と共同で、県内ネットワークを活用したシステムによる診療情報の県外保全を検討	H26.4.30 県診療情報保全基盤整備事業費補助金交 付申請 H26.6.2 3同補助金交付決定 H26.7.1 電子カルテ診療データの県外バックアップ環 境構築業務委託契約締結(履行期限:7月31日) H26.9 検収			○			

「第5期経営健全化計画の取組状況」【幡多けんみん病院】

H26年度 第5期経営健全化計 画重点取組項目	戦略的目標	目標値				No.	具体的な取組内容	達成状況	H26年度 第2四半期評価				コメント	
		業績評価指標	H24年度 (確定)	H25年度 (確定)	H26年度 (目標値)				計画 達成	進捗状況				評価 保留
										計画以上	計画通り	遅延		
(1)医療の質的 向上	①がん診療機能 の充実	地域がん診療連携拠 点病院の指定	/	/	更新	1	がんに関する勉強会の開催【継続】	4/11、5/9、6/13、7/18、9/17、10/10 開催			○			
		がん入院患者数(人)	1,100	1,011	★1,100	2	高知大学医学部に対する医師派遣要請 (放射線科医師の複数配置[放射線治療+診断])【継続】	平成26年4月から放射線科常勤医師2名配置	○					
		がん手術(件) ※外科的手術件数	357	348	★400	3	新指定要件を充足させる取り組みを進める	9月末、県に更新申請書を提出した。	○					
		外来化学療法(件)	2,514	1,729	★2,221									
		放射線治療(件)	2,326	692	★2,326									
	②地域医療支援病院 指定への取り組み	紹介率(新基準)	26.0%	34.4%	30.0%	4	承認要件の充足(紹介率・逆紹介率以外の項目)	高額医療機器等の共同利用、24時間体制の救急医療確保、 地域医療従事者の資質向上のための研修実施などは現状 で充足していると思われる。その他、委員会の開催など、具 体的な要件について県に問い合わせ、検討必要。				○		
		逆紹介率(新基準)	39.5%	45.8%	55.0%	5	地域連携をさらに推進し、「紹介率=50%以上」、「逆紹介率=70%以上」の達成に 向けた取組を推進	8月累計の前年同期比 紹介率5.4%減 逆紹介率11.6%増 8月累計の新基準 紹介率 27.9% 逆紹介率 54.5%					○	紹介率30% 逆紹介率 55%に到達していない。
	★③看護配置7対1 の維持	★看護配置7対1	算定	算定	★維持	/	※「3. (2)医師以外の医療スタッフの確保」に記載							
	(2)第三者機能 評価の認定取 得	①H27年度内に病院 機能評価の認定 取得	受審	/	/	申込	6	受審病院説明会に出席	4/25 日本医療機能評価機構理事による講演聴講。 5/19 医療センターの受診状況調査、施設見学実施。 9/11 院内勉強会実施。 (講師:アイテック鈴木氏、参加者数:122名) 10/1 受審申込済				○	
							7	院内体制の整備(各項目の事前チェックの実施)	9/19 医療機能評価受審対策実行委員会開催 (委員会の組織、メンバー:42名) 10/3 第2回同実行委員会開催 (各項目に対応するWGの組織、自己評価開始) 10/6 3rdG:Ver1.1解説書購入。各関係者に配布済。				○	
1 医療機能の 充実	(3)地域連携の 推進	①医師会・地域の 医療機関との 関係強化	勉強会開催件数 (年間)	10	10	★10	8	院内外の医療関係者を対象とするがんに関する勉強会の継続	No.1と同様				○	
			9	医師会との意見交換会を開催	開催予定(日程未定)				○					
		②地域連携パス の導入	大腿骨頸部骨折 パス(件)	207	208	★210	10	地域連携パスWGの開催【継続】 地域連携パス検討委員会の開催【継続】	地域連携パスWG 5/28、8/18開催 11/11開催予定 地域連携パス検討委員会 6/26開催 11/20開催予定				○	
	脳卒中パス(件)		265	255	★270			(病・病)9月まで 151件 (病・診)9月まで 146件	○					
	脳卒中病診パス (件)		252	285	★300	/	がんに関する勉強会の開催【継続】<再掲>(No.1)	No.1と同様	/	/	/	/		
	胃がんパス(件)		0	3	★2	11	胃がんパスの運用	4月～8月 3件	○					
	大腸がんパス(件)		1	1	★3	12	大腸がんパスの運用	4月～8月 2件				○		
	糖尿病パス(件)	0	0	★2	13	糖尿病パスの運用	4月～8月 0件				○			
③地域連携システム 「しまん」とネット」の 活用	カルテ公開件数 (件)	680	786	★800	14	カルテ公開への迅速・適切な対応	H26.8月末実績 335件				○			
(4)患者サービ スの向上	①接遇の向上 ②アメニティの改善	★患者満足度	/	/	★70%	15	外部講師による接遇研修の実施	実施予定(日程未定)				○		
			16	医事業務受託者の接遇チェックを実施【継続】	H26.6.20 H26.9.19 接遇調査実施				○					
			17	必要に応じた備品、調度品の修繕、更新を実施	6/2 初診受付机購入、 7/10、9/29病室用ソファベッドカバー張り替え(2台)				○					
	③給食メニュー の改善	嗜好調査の 満足度	69%	71%	★80%	18	患者満足度(嗜好調査)の実施【継続】	H26.6.18 嗜好調査実施				○		
			19	前回の結果を踏まえた給食の改善	上記を受けて給食委託業者に改善依頼中				○					
	④住民向け広報活動 の充実	「幡多ふれあい医療 公開講座」の開催数	6回	6回	★6回	20	「幡多ふれあい医療公開講座」の開催【継続】	4/20 参加者105名、6/8 参加者66名、9/7 参加者114名				○		
			21	ホームページ・広報誌の充実	4月～8月 30回更新、広報誌3回発行				○					

「第5期経営健全化計画の取組状況」【幡多けんみん病院】

H26年度 第5期経営健全化計 画重点取組項目	戦略的目標	目標値				No.	具体的な取組内容	達成状況	H26年度 第2四半期評価				コメント		
		業績評価指標	H24年度 (確定)	H25年度 (確定)	H26年度 (目標値)				計画 達成	進捗状況				評価 保留	
										計画以上	計画通り	遅延			
2 経営基盤の強化	(2)収益の確保	入院収益 (百万円)	4,770	4,494	4,744		医療事務委託会社との連携による職員の診療報酬知識の向上 <再掲> (No.50)								
		①病床利用率の 目標設定	外来収益 (百万円)	1,703	1,598	1,589	22	DPCデータの分析と活用の促進(DPC分析ソフトの導入)	平成27年度予算にMEDI-TARGETを計上。(5万円/月) 9/5,10/2アイテックによるDPC分析報告あり。				○		
			入院診療単価(円)	51,860	51,177	52,051	23	コンサルタントによる調査、分析の実施	中間報告書受領。7/29 口頭による中間報告。 以降は毎月の運営会議の後に進行。				○		
			外来診療単価(円)	12,171	12,059	12,150	24	マネジメントシートの作成と進捗管理	7/3 運営会議にてアイテックにより全部署へ報告 10月に上半期の評価を行う。				○		
	(3)費用の 適正化	①材料費率の通減	★材料費率	24.4%	23.2%		25	高額医薬品についてはジェネリックへの切替、使用数量が多い医薬品についても順次切替を検討するなど、後発医薬品の使用率を高める	ジェネリック医薬品使用率 約49%				○		
			薬品回転期間 (回)	28.3	44.8		26	同規模病院との比較も参考に、災害時の必要量も考慮しながら、在庫数量の適正化を図る	薬品 33.8日 診療材料 19.5日				○		
			診療材料回転期 間(回)	19.4	24.3		27	同種同効品類似品の集約や契約の見直しなどにより、材料費の低減を目指す。引き続き2病院共同で契約交渉を実施。コンサルタントによる分析結果を踏まえ、調達 のあり方を見直す。【継続】	薬品については2病院で情報共有し、上半期値引き率妥結 済				○		
			★後発医薬品使 用率(数量)		21.5%	★50%				ジェネリック医薬品使用率 約49%				○	
			薬品値引率	9.29%	9.33%					No.27					
			診療材料(イン プラント)値引率	10.56%	14.51%					No.27					
	(4)未収金の 縮減	①不良債権化の防止 ②悪質滞納者への 対応強化	★未収金 現年度額 (百万円)	26.2	17.5	★20	29	未収金対応マニュアルに沿った対応を徹底。誓約書の求めやクレジットカード決済 の活用【継続】	個別訪問も含め、マニュアルに沿った適正な対応を行う。				○		
			★未収金 過年度額 (百万円)	34.0	30.0	★25									
	(5)資産管理の 適正化	②施設の維持管理 の適正化	★施設維持管理 費					設備耐震診断を実施⇒診断結果を踏まえ、大規模修繕などの必要な措置を講じ、 耐震性を確保する<再掲> (No.55)							
							30	非常用自家発電装置の修繕等を実施・検討 オーバーホールを実施	年次停電試験を1月中旬に予定。それに合わせて業務の発 注を行う。具体的には12月中に開始する。				○		
							31	コンサルタントによる分析結果を踏まえ、施設設備の維持管理全体について、 最適化へ向けた見直しを実施【継続】	アイテックによる成果品受領済み。設備管理委託について院 内検討を行い、来年度に向けた仕様を確定した。				○		
3 医師をはじめとする医療スタッフの確保	(1)医師の確保	④医師受け入れ体制 の強化				32	両病院の経営事業部(旧事務部)に「医師支援チーム」を新設し、担当職員を配置 することで、院内外に向けて医師の招へいに向けた積極的な姿勢を打ち出す	初期臨床研修医 当院採用8名、協力型3名・月 学外実習(延べ人数) 6年生13名、5年生21名				○			
	(2)医師以外の 医療スタッフの 確保					33	応募者向けのPR冊子の作成	アイテックに見本の作製依頼中				○			
						34	学生実習の積極的な受け入れ	実習受け入れ継続中				○			
						35	病院見学の積極的な受け入れ	実習受け入れ継続中				○			
						36	各種養成学校の定期訪問の実施						○		
	(3)職員の処遇 改善	①医師の勤務環境 の改善	★医師事務作業 補助体制加算	50対1	50対1	★40対1	37	医師事務補助者の増員を検討 → 26年度改定で病棟配置を検討したが、疑義解釈で8割を満たすことは不可能 となった。しかしながら各科の医師にアンケートを実施し、必要なところには適切に 配置することとした。2名増員すれば、40:1がとれるため、増員を検討	2名増加により、8月より40対1を算定開始。	○					
			★医師の年間の 総残業時間	33,285	35,291	★33,000		電子カルテシステムの更新<再掲> (No.60)							
②看護師の業務 の負担軽減		★看護師の年間の 総残業時間	25,949	32,907	★30,000	38	看護補助者の増員を検討	合計34名になるようハローワークへ求人募集中				○			
	③看護師の労働環境 の改善				39	新しい看護方式(PNS)導入について検討を始める	H26.10から1部署で試行導入する				○				

「第5期経営健全化計画の取組状況」【幡多けんみん病院】

H26年度 第5期経営健全化計 画重点取組項目	目標値					No.	具体的な取組内容	達成状況	H26年度 第2四半期評価				コメント		
	戦略的目標	業績評価指標	H24年度 (確定)	H25年度 (確定)	H26年度 (目標値)				計画 達成	進捗状況				評価 保留	
										計画以上	計画通り	遅延			
4 人材の育成	(1)若手医師の養成	①院内体制の整備: ワンストップ窓口 の設置	医学部学外実習 生受け入れ件数 (人)	28	66	★60	40	両病院の経営事業部(旧事務部)に「医師支援チーム」を新設。専任担当職員を配 置し、大字や研修医の一元的な窓口とする<再掲> (No.32)	(再掲)						
		②卒前教育への協力	幡多地域医療道 場学生数	33	30	★35	40	学外実習生の積極的な受け入れ【継続】 (No.34)	学外実習(延べ人数) 6年生13名、5年生21名			○			
							41	地域枠学生の受け入れ⇒幡多地域医療道場の開催協力【継続】	幡多地域医療道場H26.8.18-19に30名受け入れ済み			○			
		③初期臨床研修の実 施	マッチング実績(件)	4	3	★5			5名のフルマッチ達成。高知大学幡多けんみん病院複合研 修プログラムによる臨床研修医1名	○					
		④後期研修の実施 【継続】	★後期研修医 (数)				42	高知県立病院群家庭医・総合医養成後期研修プログラムの実施	後期研修医募集中			○			
						43	プライマリ・ケア連合学会総会(H26.5岡山)にPRブースを出展	H26.5.10~5.11出展済み			○				
						44	ホームページ、パンフレット等による広報活動	実施中			○				
						45	H25年度に締結した「協定」に基づき、地域医療支援センターが中心となって実施す る、医師のキャリア形成支援の取り組みに主体的に協力する	継続中			○				
	(2)看護師の専 門性の向上	①認定看護師の 更なる養成	認定看護管理者 数(人)		0	★1	46	認定看護管理者1名を要請する。	H26年度養成			○			
		③助産師の確保	助産師数(人)		13	★13	47	高知大への派遣(候補がいる場合)	候補該当者なし					○	
③特定看護師制度へ の対応						48	特定看護師制度実施後の他院の状況を踏まえ、適切に対応する						○		
④若手看護師の育成		★採用1年以内の 離職率		6.8%	★5% 以内		新しい看護方式(PNS)導入について検討を始める <再掲> (No.39)								
(3)コメディカル の専門性向上					49	医療提供に必要な資格(サブスペシャリティ)については、公費負担による資格取得 を促進する ⇒必要な資格の洗い出しと予算化							○		
(4)事務職員の 専門性の向上	③プロパー事務職員としての 専門性の向上					50	医療事務委託会社との連携による職員の診療報酬知識の向上							○	
5 南海トラフ地震対策の充実・強化	(1)災害時医療 提供体制の充 実	①BCPの策定及び 実効性の担保	★BCP訓練			開催	51	BCPの実効性担保へ向けた訓練の実施	12/6 訓練実施予定。			○			
		②職員安否確認シス テムの運用開始	★安否確認システ ムの運用			運用 開始	52	職員安否確認システムの運用テストと運用開始	・H26.5.30運用テスト ・10/6 現在登録状況: (登録済)360人/(全体)498人=(登録率)72.3% ※正職員以外含む。 未登録者に登録依頼中。			○			
		③災害時備蓄の拡充					53	災害用資器材等保管倉庫に保管棚を整備	・補助金(4/1要綱施行、災害対策強化事業補助金)を 活用し、26年度中に整備予定。			○			
		④DMATの体制充実	★DMATの指定	指定	指定	維持	54	DMAT用資器材の拡充	DMAT車にバックモニター整備 27年度購入物品を予算計上			○			
	(2)施設・設備・ 機器の再点検	①設備の耐震性 の確保	★Is値			0.6以上	55	設備耐震診断を実施⇒診断結果を踏まえ、大規模修繕などの必要な措置を講じ、 耐震性を確保する	成果品受領し、県立病院課、建築課と協議。建築課に設計を 依頼済み。来年度着工予定			○			
							56	非常用自家発電装置の修繕等を実施・検討⇒オーバーホールを実施	No.30に同じ			○			
		②災害時における燃料水源の確保				57	燃料タンク増設の必要性を検討	No.55と並行して進める。タンクの増設の設計を建築課に依 頼済み。			○				
						58	井戸の設置による水源の確保	No.55と並行して進める。今年度試掘を行うこととし、結果をも とに来年度での整備を進める。			○				
	(3)診療情報の 保全	①診療情報の県外保 全					59	「県医療情報通信技術(ICT)連絡協議会」に参画⇒県内12病院と共同で、県内ネッ トワークを活用したシステムによる診療情報の県外保全を検討	8月からバックアップ開始	○					
		②医療情報システム (電子カルテ)の更新	★更新のベンダ			選定	60	仕様書の作成、プロポーザルによるベンダ選定を実施(★電子カルテの導入コスト の抑制も考慮)	仕様書は作成済み、9月にベンダ選定(富士通)。	○					

「第5期経営健全化計画をふまえたコンサル提案進捗状況」【幡多けんみん病院】

取組項目	戦略的目標	目標値				No.	具体的な取組内容(アクションプラン)	達成状況	H26年度 第2四半期評価				コメント		
		業績評価指標	H24年度 (確定)	H25年度 (確定)	H26年度 (目標値)				計画 達成	進捗状況				評価 保留	
			計画以上	計画通り	遅延										
1 医療機能の充実	(1)医療の質的向上	②地域医療支援病院指定への取り組み	紹介件数(件)	3,022	2,842	3,096	1	★紹介状のない初診患者への特定療養費の値上げ	診療情報提供書料 250点を基準として検討する。			○			
			逆紹介件数(件)	4,590	5,553	5,676	2	★紹介患者は全て地域医療連携室を通るようにするフローの確立(紹介患者の電話番号と窓口を地域医療連携室に統一) →地域連携室で紹介率や逆紹介率が把握できる院内システムの構築、紹介機関や紹介患者に地域連携室で予約を取ることの徹底、及び新患受付に紹介状を持参するケースの紹介先への返書遅れの防止 → 返書管理は地域医療室以外の紹介患者についても行っているようであるが、一元管理できるようデータベースを構築する必要がある。	方向性を検討中 紹介窓口を設置する場合は、2階西入口の再来機が設置されている周辺を検討			○			
						3	★最初の初診時に逆紹介することの徹底	方向性を検討中			○				
						4	★診療時間内においては、できる限り紹介機関からの当日診療依頼に対応する	方向性を検討中			○				
	(3)地域連携の推進	③地域連携システム「しまんとネット」の活用	★周術期口腔管理バス(件)				★50	5	★周術期口腔管理バスの運用	4月～8月 32件			○		
			しまんとネット接続施設数		48		★55	6	★医科歯科連携による接続数の増加	4月～8月 新規接続 0件			○		歯科へ訪問体制が整っていない。
	(4)患者サービスの向上	①接遇の向上 ②アメニティの改善						7	★患者アンケートの継続的实施	受託者により実施 (5/20、5/22、8/21、8/22)			○		
2 経営基盤の強化	(2)収益の確保	②診療報酬改定への適切な適応	1日平均入院患者数	252.0	240.6	249.7	8	★高齢者を中心とする入院前検査の入院時での実施の検討(平均在院日数+1日) → ロングステイは、看護必要度を低下させる懸念がある。よって、地域包括ケアとセットで考えなければならない。					○		
			1日平均外来患者数	571	543	536	9	★病棟間の緊閉差(利用率など)を踏まえた病棟の診療科構成の再編の検討 → 産科や小児病棟は病床利用率が低くても、ある程度ベッドを空けておく必要性があることから、全体の目標設定から外した目標値を設定してはどうか。					○		
		③コンサルタントの導入	一般病床利用率	80.7%	77.0%	80.3%	10	★薬剤師2名の増員による病棟薬剤業務実加算の算定	採用試験実施。病棟薬剤業務実加算は増員後算定検討				○		
			一般平均在院日数(日)	13.6	14.0	★14.5	11	★計画的な退院に基づく退院時薬剤情報提供料の算定						○	
			新入院患者数	6,300	6,078	6,000	12	★病棟師長による退院日の決定	退院日の決定は医師・看護師が行うカンファレンス内で決定している。				○		
			服薬指導の件数(件/月)	450	409	★450	13	★目標病床利用率の達成に向けた診療科単位での方策(外来枠、紹介や救急への対応、平均在院日数などの見直し)の検討と実行						○	
			★室料差額収益(百万円)	75	75	★80	14	★抗悪性腫瘍剤処方管理加算の算定	7月より運用開始	○					
							15	★画像診断管理加算2の算定 → 常勤医師2名配置により、今後の算定開始が決まっている。	施設基準届出送付済、8月算定開始 1159件。	○					
						16	★循環器リハビリI、呼吸器リハビリの算定 → とともにH26年度より算定を開始している。	呼吸器リハビリ H26.4から、循環器リハビリ I H26.5から算定	○						
						17	★PTの増員による1日2単位の実施によるリハビリ収益の向上	採用試験実施				○			
						18	★1病棟の地域包括ケア病棟入院料算定の検討 → 看護必要度の状況をみながら、15%を満たせない場合は、整形外科、消化器科など看護必要度の低い病棟の患者を地域包括ケアに回すことを検討する。	4月～8月まで15%以上をクリアしたため、当面は急性期で行くこととした。また病床機能報告制度では、7:1算定病棟は、一般急性期で届出し、ICUは高度急性期で届出予定。				○			
						19	★委託との採算性比較による診療録管理体制加算1の算定の検討 → 年間退院患者6000名超のため、4名配置が必要となる。現在2名の配置であるが、1名はがん登録専従者でカウントできない。よって3名の増員が必要となる。	9/1 コンサルから提案 【案1】がん登録専従者1名+正規職員2名 【案2】非常勤職員3名雇用					○		
						20	★救急医療管理加算の算定方法の見直し → 今までは、「コその他」に該当する患者の症状詳細をレセプトに記載しても査定されることが多かったため、あまり積極的には算定していない。26年度改定で区分が変更されたことに伴い、再度、該当患者に対して、算定していくよう医事業務委託会社に依頼した。今後の査定状況を見て、判断する。	救急医療管理加算2について、積極的に算定をしている。 4月 271件 5月 245件 6月 289件 7月 274件 8月 283件				○			
						21	★総合評価加算の算定 → 医師が研修に行く必要があること、入院診療計画書に7日以内に評価を記載し、その後、総合評価を行う必要がある。医師に負担がかかることが予想されるため、これまで検討していなかった。	9/5 算定の流れについて事務局案を提示。概ね了承を得た。 10～11月 医師による研修を実施予定 11月以降届出 算定開始予定				○			
					22	★敷地内全面禁煙による禁煙外来の開始							○		
					23	★特別食加算の算定 → 栄養指導件数については、ある程度取り組んで成果が上がっているが、特別食加算については、病名をつけることで算定件数の増加が見込める。							○		
					24	★室料差額の部屋数及び差額料金の増加	9/4 コンサルから提案 ・室料差額の部屋数増加については看護部にて検討 ・差額料金の増加については県立病院課にて検討				○				
					25	★予約ベッドの緊急時の活用法などのベッドコントロールのルール化	平日:毎朝ベッドコントロール施行 休日:看護長の休日管理業としてベッドコントロール施行				○				
		★③減価償却費の通減	★減価償却比率	10.9%	11.8%			26	★各年度の投資枠の見直し、院内の器材委員会でのチェック強化	方向性を県立病院課で検討中				○	
	(5)資産管理の適正化	①棚卸資産管理の改善						27	★薬剤の毎月の棚卸方法の検討(棚卸時間の薬剤管理指導料への転化)	物流システムの更新に併せて検討中				○	







平成24年2月



高知県立  
**あき総合病院**

青…室戸市・東洋町  
オレンジ…中芸5カ町村  
緑…安芸市・芸西村  
赤…あき総合病院を表し、  
あき総合病院が3つのエリアをカバーしていることを意味しています。

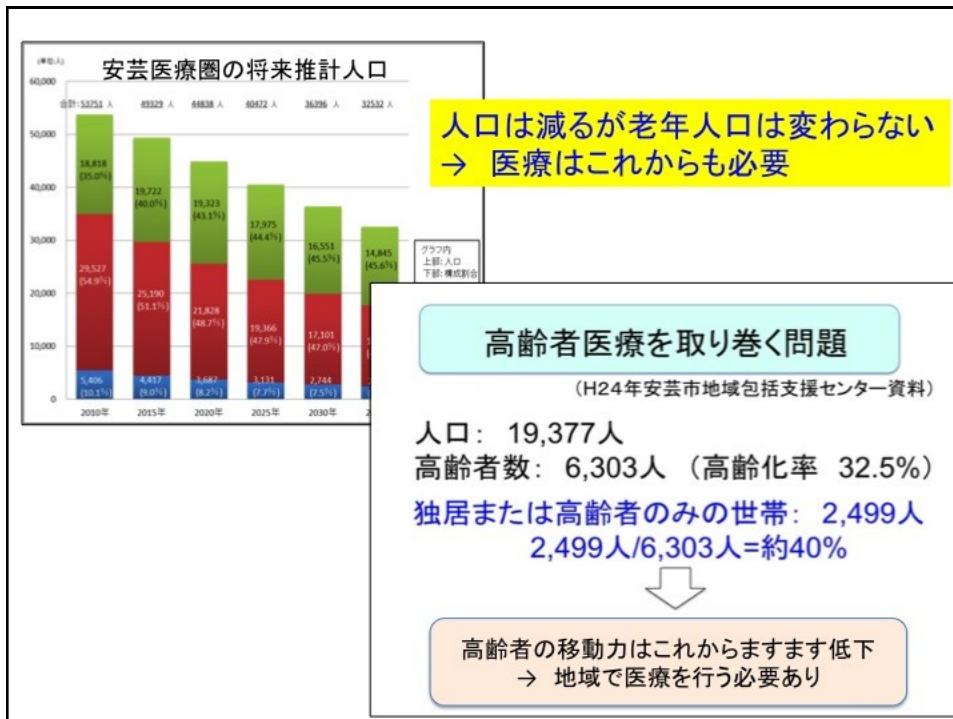
二次医療圏を  
支えていくこと  
が理念です

理念

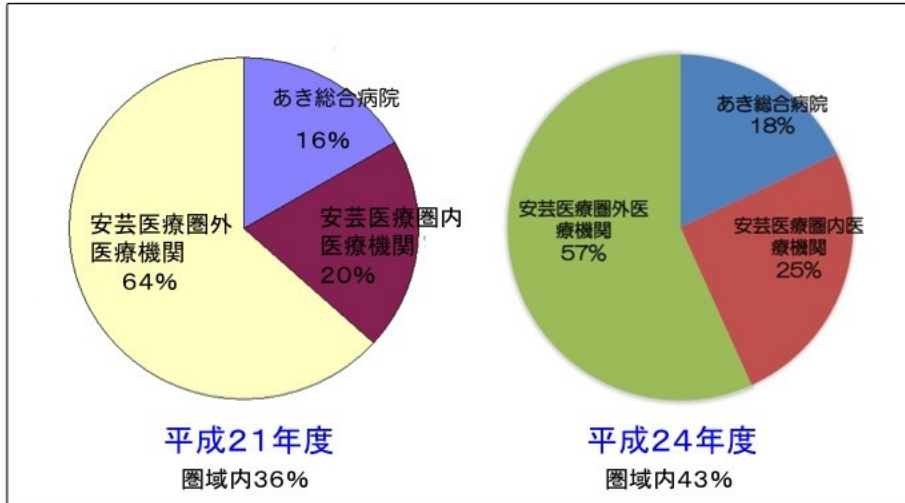
私たちは安芸地域とともに歩み、人々の心とからだの健康を支えていきます。

基本方針

- (1) 安芸地域のための急性期病院を目指します。 **急性期医療**
- (2) 安芸地域に良質な医療を提供します。 **地域完結医療**
- (3) 地域の医療を担う有望な若手医師を育てていきます **教育**
- (4) 地域と連携し信頼される病院を目指します。 **地域連携**

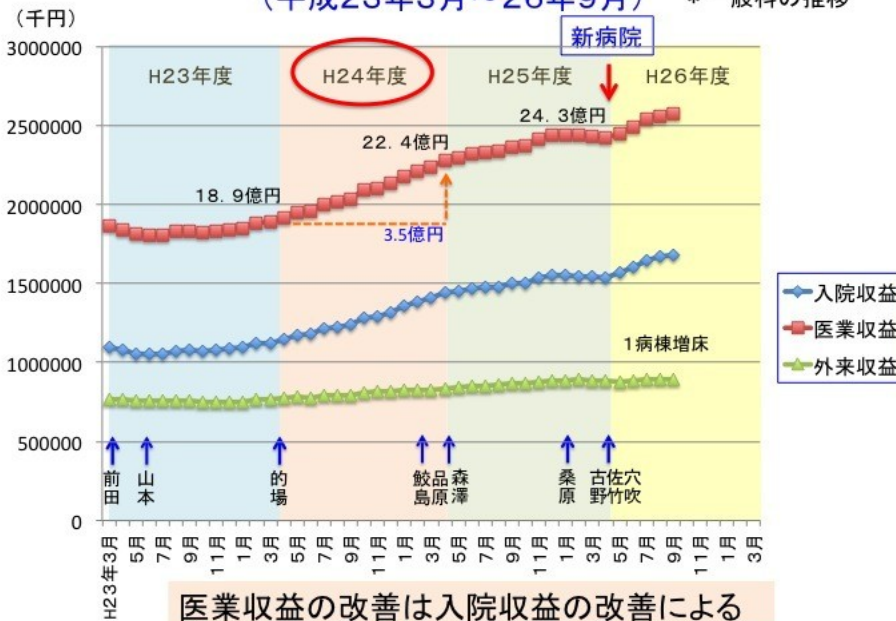


### 安芸医療圏患者の高知県医療機関への入院状況 国保給付実態調査(H21年度およびH24年度)



圏域外への患者流出をなんとかしても止める必要がある

### 県立あき総合病院年間医業収益の移動累計推移 (平成23年3月~26年9月) \*一般科の推移



## 収益の事を考えると...

平成24年度の安芸医療圏内入院患者のシェアは18.0%

平成21年の16%から2%の伸び

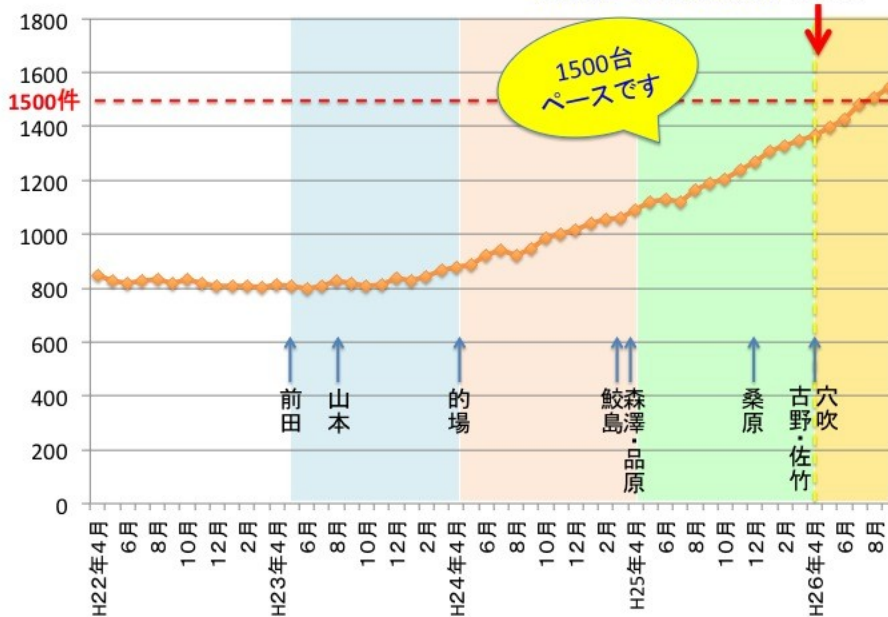
しかし、この伸びだけでも、収益は3.5億円増加している。

中央圏に流出している患者をさらに引き止めれば、収益は上がり、かつ二次医療圏を支える役割を果たすこととなる。

- (1) もっと急性期医療に力を入れる必要あり。
- (2) 入院診療単価を上げ、入院の回転を増やす必要あり。
- (3) 地域連携の強化

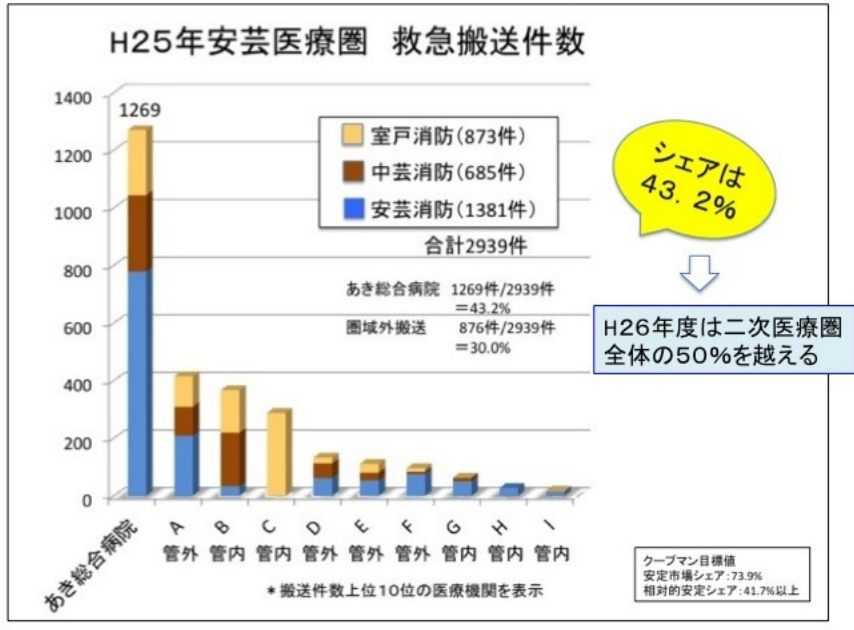
## 急性期医療 救急搬送件数の移動累計(1年間)の推移

(高知県立あき総合病院) 新病院



急性期医療

救急受け入れ件数の増加



2014年(平成26年) 6月26日(木曜日) 地域 2

## 室戸病院 夜間診療中止へ

### 来月から看護師が不足

【室戸】宮市で唯一の救急病院として、夜間の急患に対応してきた室戸病院(同市元甲)が、看護師不足を理由に6月末で救急病院から外れ、夜間の外来診療を中止することになった。7月以降、市民にとって最も近い夜間救急機関は安芸田原町の野病院となり、市中心部から救急車でも30分程度かかるため、不安の声が

室戸病院は、1987年から県認定の「救急告示病院」。24時間で態勢で重症患者にも対応する2次救急機関として、特に夜間の傷病か時の市民のよりどころになっていた。

同病院によると、夜間外来は毎日毎日午後5時半～翌日午前8時半で、医師1人と看護師1人が担当。2012年度は病人(救急搬送、自力受診などの合計)の利用があったところだが、昨年末まで27人いた看護師が今年に入り、相次いで退

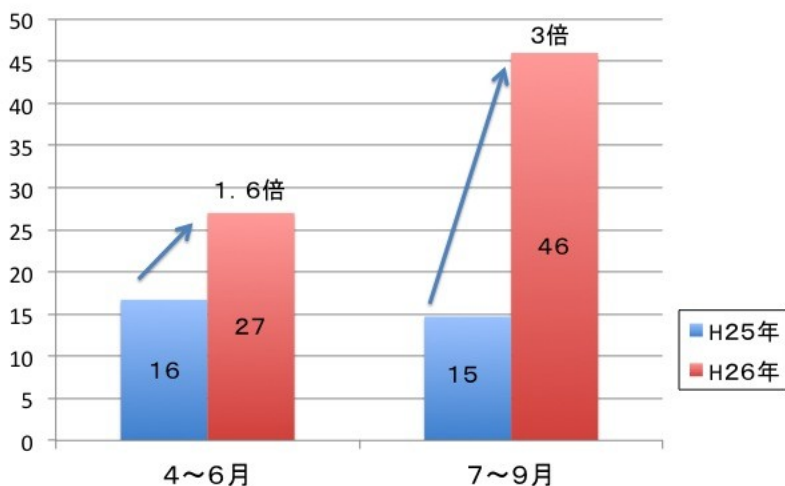
室戸市外の受け入れを断る

室戸病院(室戸市元甲)

室戸市の救急医療の問題

## 室戸消防からの1ヶ月当たり救急搬送件数の比較

(平成25年4月～平成26年9月県立あき総合病院)



7月になり室戸消防からの救急搬送件数が急増している



ヘリ運用開始(4月15日～)

ヘリ離発着 16件

### 搬入

- ・開放骨折3件
- ・頭部外傷1件
- ・呼吸不全1件
- ・アナフィラキシーショック1件

### 搬出

- ・大動脈解離1件→高知大学
- ・急性硬膜下血腫2件  
→高知大学  
高知医療センター
- ・腰椎破裂骨折  
→高知医療センター  
など

循環器科による心臓カテーテル検査  
経皮的冠動脈インターベンション術開始



心臓カテーテル  
66例(半年)

心臓手術は高知大学に紹介



桑原昌則 医長 古野貴志 副院長

急性期医療 あき総合病院年度別手術件数推移

(平成23年～平成26年9月あき総合病院)



## H26年7月現在 病床機能報告制度

\* 第6病棟は結核5床含む

南4F (第6病棟45床)	中4F (第4病棟45床)	北4F (第2病棟30床)
急性期病棟(内科系) 7:1看護	急性期病棟(外科系) 7:1看護	精神科急性期病棟
南3F (第5病棟45床)	中3F (第3病棟45床)	北3F (第1病棟60床)
急性期病棟(混合) 7:1看護(産科小児科除く)	急性期病棟(混合) 7:1巻後	精神科急性期病棟

## H27年4月から



南4F (第6病棟45床)	中4F (第4病棟45床)	北4F (第2病棟30床)
急性期病棟(内科系) 7:1看護	急性期病棟(外科系) 7:1看護	精神科急性期病棟
南3F (第5病棟45床)	中3F (第3病棟45床)	北3F (第1病棟60床)
急性期病棟(混合) 7:1看護(産科小児科除く)	地域包括ケア病棟 外科(緩和)・整形・内科など	精神科療養病棟

## 医局ラウンジでのモーニングカンファレンス



診療科間の垣根は極めて低い

平成25年度12名研修医受入れ、  
本年、高知大学医学生39名受入れ  
地域の医療研修にはうってつけ



県立あき総合病院

## 病院GP養成センター

設置案

GP: General Practitioner, 病院勤務医の総合診療医

### 事業内容:

- (1) 家庭医養成プログラムコース(後期研修医対象)
- (2) 卒後初期臨床研修コース (初期臨床研修医対象)
- (3) 医学生総合診療実習コース(医学生5・6年生対象)
- (4) 初期医学生臨床体験実習コース(医学生1～4年生対象)
- (5) 家庭医学講座の医学生実習の実習支援
- (6) 各コース対応のセミナー開催

センター長 : 的場 俊 (専任教官)

副センター長:(公募)

2025年にむけて需要の高まる総合診療医を養成する

日本プライマリ・ケア連合学会認定・後期研修プログラム Ver.

### 高知県立病院群

### 総合医・家庭医養成後期研修プログラム

**2014年度 研修医募集!**



あき総合病院

幡多けんみん病院

<http://www.pref.kochi.lg.jp/aki/>

<http://www.pref.kochi.lg.jp/hata/>

高知県立病院(あき総合病院、幡多けんみん病院)では、2017(H29)年度から開

総合医養成  
募集開始

県立あき総合病院

# 地域 連携 懇談会



AKI  
General  
Hospital

18:30~  
「新あき総合病院の概要と地域での役割」  
あき総合病院 院長 前田博敏  
「地域連携と地域とのかわり」  
あき総合病院 地域連携室長 的場俊  
19:00~ 参加者 懇談会

185名の方々のご  
参加、有難うござ  
いました

## ちれんこん2014

7月18日  
ホテルタマイ



県立病院として、東部二次医療圏のための病院を目指していきます



AKI  
General  
Hospital

青…室戸市・東洋町  
 橙…中芸5力町村  
 緑…安芸市・芸西村  
 赤…あき総合病院